

ASPICの活動概況

2020年2月7日

特定非営利活動法人
ASP・SaaS・IoTクラウド コンソーシアム (ASPIC)
(クラウドサービス情報開示認定機関)

会長 河合 輝欣

<https://www.aspicjapan.org>

目次

ASPICの活動概要 ————— P3

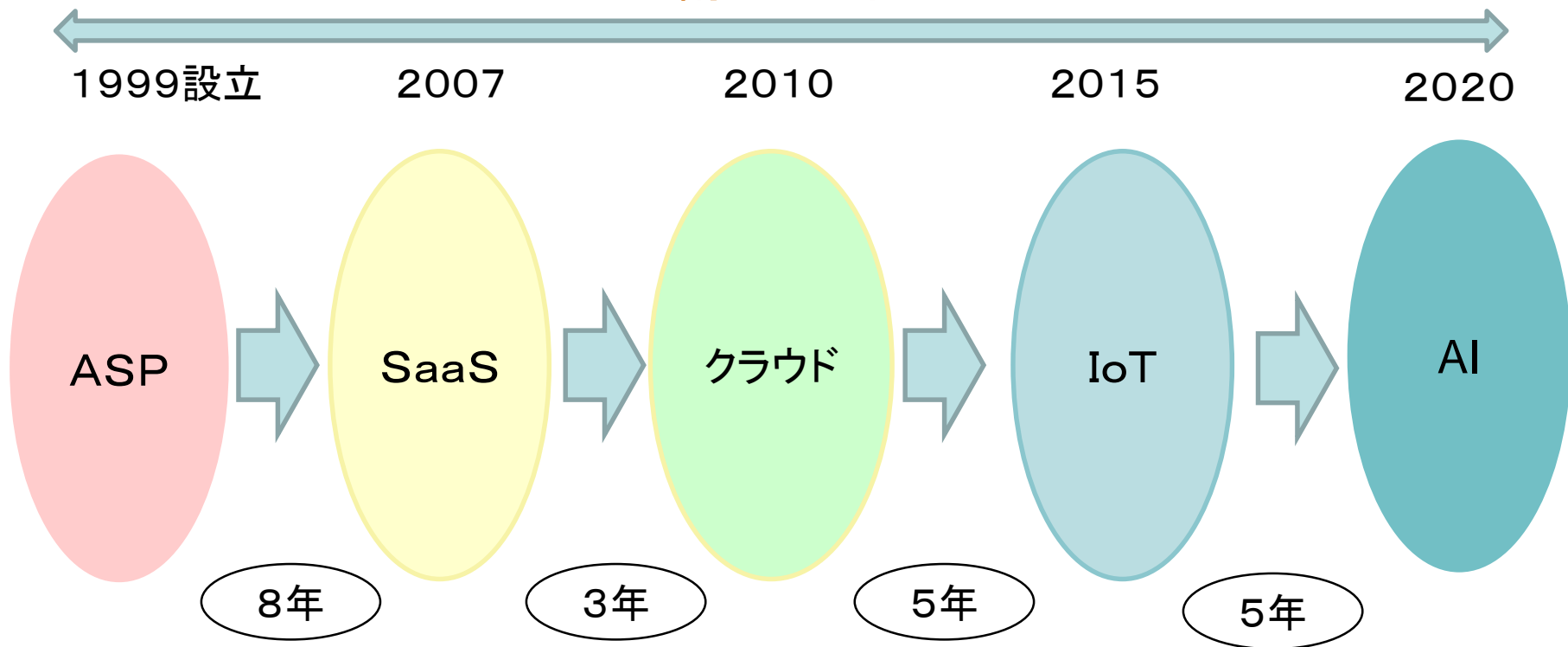
- 1.ASPICの業況拡大
- 2.新法人の設立と名称変更について
- 3.第4次産業革命とは何か
- 4.ASP、SaaS、クラウドの体系
- 5.活動の五本柱
- 6.ASPICの沿革
- 7.ASPIC令和元年度の取り組み

ASPIC活動の詳細 ————— P21

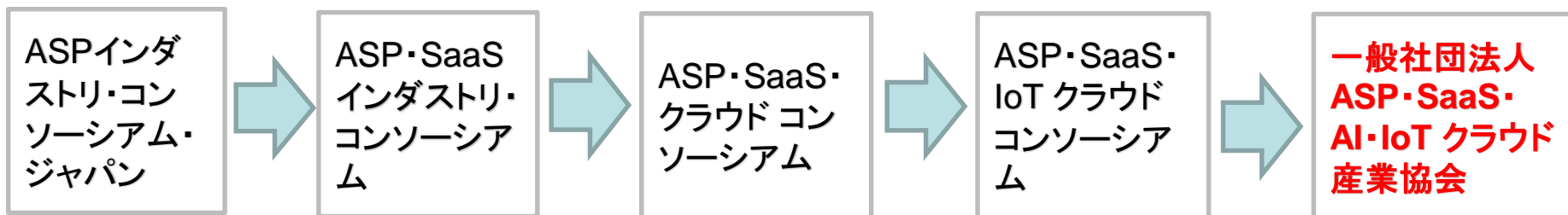
- I .ASPIC IoT AI クラウドアワード2019
- II .クラウドサービス紹介サイト「アスピック」
- III .クラウドサービス情報開示認定制度
- IV .安心・安全の推進
- V .国等委員会への参画
- VI .ビジネス支援
- VII .クラウド研究会の推進
- VIII .総務省IoTサービス実証事業・実装事業への参画
- IX .市場動向と今後の取り組み

1.ASPICの業況拡大

創立20年



団体名称



2. 新法人の設立と名称変更について

- ・現在のNPO法人で行っている事業の全てを一般社団法人に移行するため、新法人を設立します。
- ・また、IoT分野に引き続きAI分野についても積極的に活動を行うため、法人名称にAIを追加します。

新法人名称

一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoTクラウド産業協会 (略称名:ASPIC)

- ・2月に理事会で審議しました。
- ・3月に臨時総会を開催し、決定します。
- ・4月以降 NPO法人から一般社団法人へ1年かけて移行します。

3. 第4次産業革命とは何か

- 2016年1月にスイスのダボスで開催された第46回世界経済フォーラムの年次総会（「ダボス会議」）で「第4次産業革命の理解」がテーマとしてとりあげられた。
- 第4次産業革命とは、「現在進行中で様々な側面を持ち、その一つがデジタルな世界と物理的な世界と人間が融合する環境」であり、具体的には「あらゆるモノがインターネットにつながり、そこで蓄積される様々なデータを人工知能などを使って解析し、新たな製品・サービスの開発につなげる等」
- ドイツは、2010年に開催された「ハノーバー・メッセ」で「インダストリー4.0」と呼ばれる国家構想をいち早く打ち出した。

安倍総理大臣施政方針演説より

(平成31年1月28日)

(第四次産業革命)

世界は、今、第四次産業革命の真ただ中にあります。人工知能、ビッグデータ、IoT、ロボットといったイノベーションが、経済社会の有り様を一変させようとしています。

自動運転は、高齢者の皆さんに安全・安心な移動手段をもたらします。体温や血圧といった日々の情報を医療ビッグデータで分析すれば、病気の早期発見も可能となります。

新しいイノベーションは、様々な社会課題を解決し、私たちの暮らしを、より安心で、より豊かなものとする、大きな可能性に満ちている。こうしたSociety 5.0を、世界に先駆けて実現することこそ、我が国の未来を拓く成長戦略であります。

安倍総理大臣施政方針演説より

(令和2年1月20日)

(イノベーション)

第4次産業革命がもたらすインパクトは、経済のみにとどまらず、安全保障をはじめ、社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼします。国家戦略としての取り組みが必要です。

その基盤インフラは、通信です。5G(第5世代)、ポスト5G、さらにその先を見据えながら、大胆な税制措置と予算により、イノベーションを力強く後押しします。安全で安心なインフラが、これからも安定的に供給されるよう、グローバルな連携の下、戦略的に取り組んでいきます。

次世代暗号などの基盤となる量子技術について、国内外からトップクラスの研究者・企業を集める、イノベーション拠点の整備を進めます。

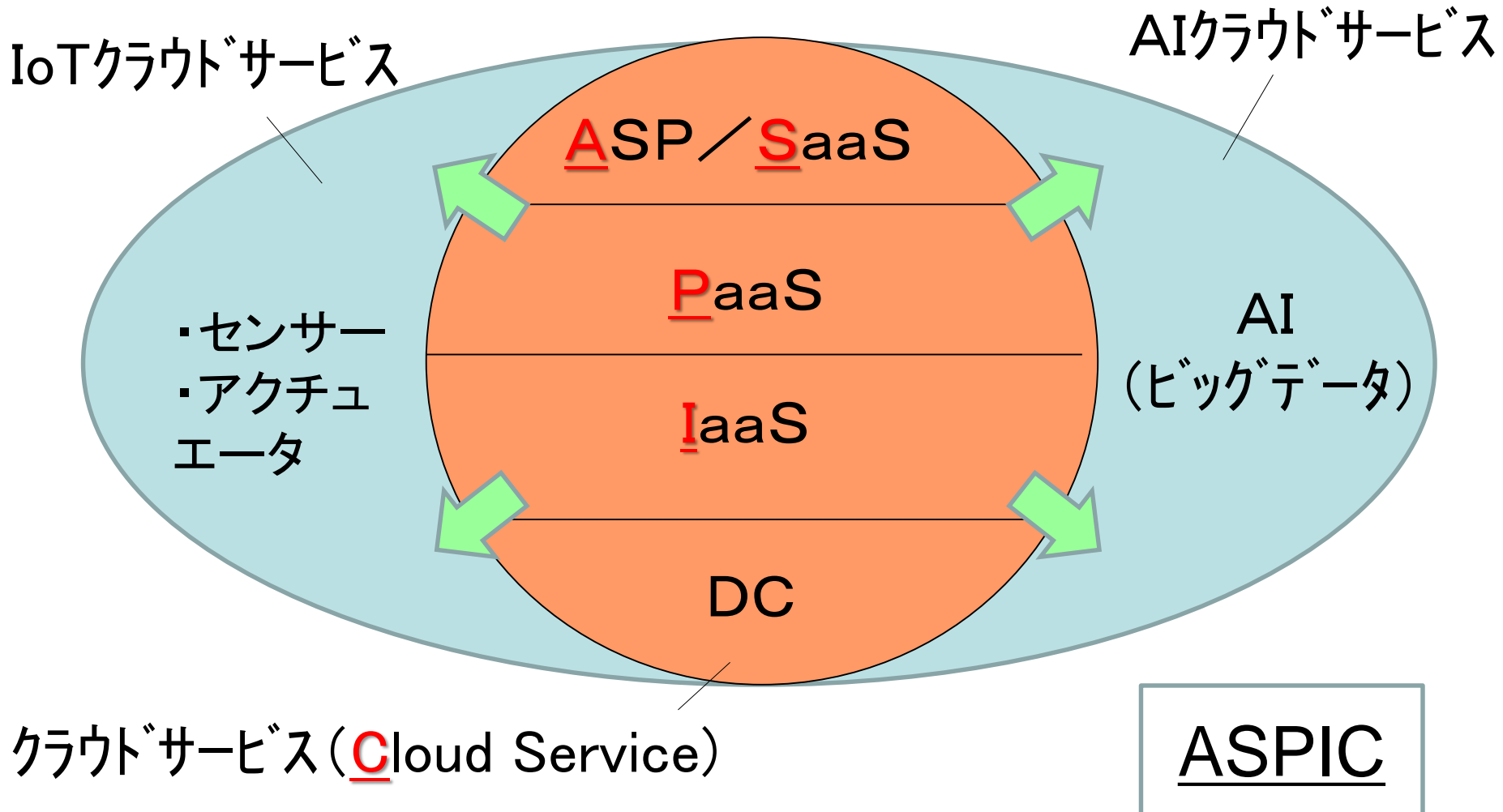
第4次産業革命の実現

- 総務省「IoT総合戦略(2017.1.27)」より
 - ①「2016年6月、政府は「日本再興戦略改訂2016」を閣議決定した。本戦略は2020年時点で実質GDP600兆円を目指すこととし、そのうち、IoT・ビッグデータ・AI・ロボットを軸とする第4次産業革命の実現により30兆円の付加価値を創出することとしている。」

- ② 第4次産業革命は、データ主導社会(Data Driven Society)を実現する
 - ⇒データの生成・収集・流通・分析・活用を徹底的に図る
 - ⇒製造過程はもとより、あらゆる社会経済活動を再設計し、社会の抱える課題解決を図るSociety 5.0を目指す
- ③ データ主導社会の実現を目指す上でビッグデータの利活用が鍵となる。
- ④ ビッグデータを収集するための手段がIoT (Internet of Things)である。
- ⑤ ビッグデータを分析・活用するための手段がAI (Artificial Intelligence)である。

- ⑥ ビッグデータには、
- 国や地方公共団体が提供するオープンデータ
 - 農業やインフラ管理に係る暗黙知(ノウハウ)を形式知化(構造化)したデータ
 - M2M(Machine to Machine)から吐き出されるストリーミングデータ
 - 個人の属性に係るパーソナルデータなど
多種多様なものが含まれる。
- ⑦ これら様々な静的・動的なデータを組み合わせ、従来は想定し得なかった新たな課題解決のためのソリューションの実現につなげる。

4.ASP、SaaS、クラウドの体系



5.活動の五本柱



6.ASPICの沿革

- 1999年11月 任意団体「ASPインダストリ・コンソーシアム・ジャパン※」創立
- 2002年 2月 非営利活動法人（NPO）の認証取得
- 2003年 4月 「ASP白書2003年版」作成・出版
- 2006年 5月 「ASP・SaaS イノベーションシンポジウム」開催
- 2007年 2月 国内初「第1回ASP・SaaS・クラウドアワード」開催
- 2007年 4月 総務省と合同で「ASP・SaaS・クラウド普及促進協議会」設立
- 2008年 4月 「ASP・SaaS情報開示認定」開始（認定機関FMMC）
- 2008年 6月 ASPICが「総務大臣表彰」を受賞
- 2009年 2月 「ASP・SaaS データセンター促進協議会」設立
- 2012年 6月 河合会長が「総務大臣表彰」を受賞
- 2012年 8月 「クラウド情報開示認定」開始（認定機関FMMC）
- 2017年 10月 「クラウド情報開示認定」認定機関ASPICに移管
- 2017年10月 「ASP・SaaS医療情報/ASP・SaaS特定個人情報」情報開示認定制度開始
- 2018年12月 「IoTクラウドサービス関連」のクラウドサービス情報開示認定制度開始
- 2019年4月 クラウドサービス紹介サイト「アスピック」運用開始

※団体名称の変更：2008年3月に「ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム」、2016年9月に現在名称



団体として総務大臣表彰



会長個人として総務大臣表彰

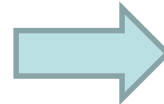


7.ASPIC令和元年度の取り組み

(1) 会員ビジネス支援

① ASPIC IoT・AI・クラウドアワード

優秀なクラウドサービスの表彰

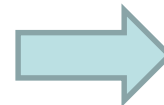


今年92サービスエントリー 59サービス表彰
累計1210サービスのエントリー 412サービスの表彰

表彰を受けたことにより
優秀なサービスとして
利用者への訴求が可能

② クラウドサービス紹介サイト「アスピック」

「アスピック」サイトにクラウドサービスを登録することによりこのサイトにアクセスされたお客様情報をクラウド事業者提供を行う。



お客様情報を容易
に入手できる

①サービス毎にサイト登録料 1万円/月
(ASPIC会員は無料)

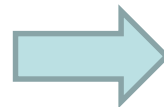
②お客様情報提供料 1万円/件

※アワードへの初回エントリーサービスはサイト登録料1年間無料
(2020.3月までの登録が対象)

4月からスタートし、現在105サービス登録
月間サイト訪問者数 47,000

③ クラウドサービス情報開示認定制度

安心安全に係るクラウドサービスの情報開示が適切に行われていることを認定



- ・新規認定手数料 209,000円/1サービス
- ・更新手数料(2年毎) 104,500円/1サービス

・利用者に安心安全なクラウドサービスであることを訴求できる
・他社との優位性をアピールできる

※アワードへの初回エントリーサービスは新規認定手数料半額 104,500円
(2020.3月までの申請が対象)

【今年度の認定サービス 25 (予定を含む)】

④ 新規入会年会費割引 (創立20周年記念キャンペーン)

- ・ビジネスの拡大・強化、ビジネス連携
- ・クラウド研究会無料参加
- ・先端技術・動向等の情報提供



様々な会員メリットが受けられる

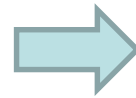
※新規入会年会費をほぼ半額割引 (期間 : 2019.11月~2020.10月)

⑤ 会員情報交換会

- ・自社事業・サービスの訴求・PR
- ・ビジネス連携チャンス
- ・人脈形成、ビジネスヒント
- ・ASPIC活動への意見・要望・提言

*2回開催(毎回8社限定)、

17会員 29人参加、評価(大変有益・有益96%)

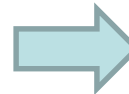


会員間の情報交換やコミュニケーションを通してビジネス連携チャンスの獲得

⑥ 会員への定期訪問

- ・ASPIC活動のホット情報案内
- ・ビジネス上の問題・課題への助言・ヒント
- ・ASPIC活動への意見・要望・提言

*70社(110名)訪問

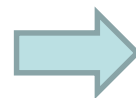


会員定着へビジネス上の助言・ヒントやASPIC情報の提供等のコミュニケーション

⑦ 会員相互紹介

- ・会員間の情報交換
- ・商談、ビジネス拡大・連携
- ・IoT・AI関連ベンダーの紹介

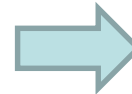
*随時紹介・仲介



ビジネスの発展・拡大やIoT・AI等新規サービス開発への連携パートナー紹介

⑧国等連携団体の紹介

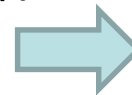
- ・新規サービス開発時の法規制等の紹介・助言
- ・実証事業等政策提言
- ・セミナー・講演会への講師紹介
- *新規サービス開発支援、集客効果**



新規事業・サービス開発
上の法規制の確認やス
テータスアップ

⑨会員トピックス情報配信

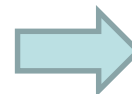
- ・自社事業・サービス等イベント情報の会員配信
- ・イベントPR、集客
- *毎週配信**



イベント周知案内によ
る集客効果、ビジネス
チャンス

⑩新春講演会・賀詞交換会の開催

- ・特別講演「平成31年度 総務省ICT関連施策について」
総務省 犬童周作情報流通振興課長
- ・賀詞交歓会
来賓 総務省 犬童周作情報流通振興課長
総務省 山路栄作データ通信課長



最新のICT政策の方向が
確認でき、会員企業
との情報交換のチャンス

(2) クラウドサービスの安心安全の推進

① クラウドサービスの安心安全なガイドラインの策定

総務省と合同の「ASP・SaaS普及促進協議会」（平成19年以來）により、クラウドサービスのセキュリティのガイドライン、情報開示指針の策定を行ってきた。28のガイドラインの策定（28の協議会の委員会により）

30年度の策定ガイドライン

- ・IoTクラウドサービスのリスク対応方針の策定（H30.7）
- ・IoTクラウドサービスの情報開示指針の策定（H30.10）

② 情報開示認定制度

- ・2008年4月から運用を開始し、現在254サービス（173社）の認定を行っている。
- ・7つの情報開示認定制度（ASP・SaaS、医療情報ASP・SaaS、特定個人情報ASP・SaaS、IaaS・PaaS、DC）さらにH30.12 ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)、IaaS・PaaS(IoTクラウドサービス) の認定制度を新設

(3) 国等委員会への参画

① 政府調達関連

- 2018年度より、「クラウドサービスの安全性評価に関する検討会」および「管理基準WG」（総務省&経済産業省）
- に委員として参加。（検討会9回開催）

② 医療情報サービスガイドラインの統合関連

- 2018年度より、「医療情報を受託する情報処理事業者の安全管理ガイドライン改定検討会」（総務省&経済産業省）に委員として参加（検討会8回開催）

③ スマートシティ関連

- 2019年度より「スマートシティ検討会」（総務省）に委員として参加（2020.1.27に第1回検討会を開催）

(4) 研究会、情報提供

①クラウド研究会

毎月2回（年24回）を行っている。IoT、AI、官庁の政策、セキュリティ、新技術等の第一線の講師の講演とQ&Aにより最先端の情報を提供

②クラウドトピックス等の情報提供

クラウドトピックス、IoT情報、官庁等の調達情報を年間100回提供（3日に1回メールで配信）

(5) 会員と共同提案による総務省IoT実証・実装事業への参画

①H29年度 総務省のIoTサービス創出支援実証事業

IoT・AIを駆使した認知症対応型実証事業

②H30年度 総務省の地域IoT実装事業

ビックデータ活用による認知症対応型IoTサービス実装事業

ASPIC活動の詳細

- I .ASPIC IoT AI クラウドアワード2019
- II .クラウドサービス紹介サイト「アスピック」
- III .クラウドサービス情報開示認定制度
- IV .安心・安全の推進
- V .国等委員会への参画
- VI .ビジネス支援
- VII .クラウド研究会の推進
- VIII .総務省IoTサービス実証事業・実装事業への参画
- IX .市場動向と今後の取り組み

I . ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019



ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019(第13回)

表彰式 日時：2019年11月8日（金）
場所：経団連会館カンファレンス

1. ASPICクラウド・IoTアワードの主旨

日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウドサービスを表彰し、事業者及びユーザーの事業拡大を支援します。

これによりクラウドサービスが社会の情報基盤としてさらに発展・確立することを目的としています。

平成19年度より13回開催し、日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウド・IoT・AIサービスを表彰。事業者及びユーザーの事業拡大及び業務効率化等に寄与します。

また、総務大臣賞が2015年に創設され、各部門の総合グランプリ受賞サービスの中で最高位のサービスに授与されます。

総エントリー数 : 1210サービス 総表彰数 : 412サービス

総務大臣賞

各部門の総合グランプリ受賞サービスの中で最高位のサービスに総務大臣政務官 木村弥生様より総務大臣賞が授与されました。

賞名	会社名	サービス名
総務大臣賞	日本電気株式会社	マイナポータル連携問い合わせ自動応答ソリューション



(左から) 総務大臣政務官・木村弥生様 受賞者 河合ASPIC会長



ASP・SaaS部門 社会・業界特化系分野



ASP・SaaS部門 基幹業務系分野・データ活用系分野



ASP・SaaS部門 支援業務系分野



データセンター部門・IaaS・PaaS部門・ユーザ部門



AI部門



IoT部門
Copyright©2020ASPIC

第13回 ASPIC IoT・AI・クラウドワード2019受賞企業とサービス名

<ASP・SaaS部門>		
賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	株式会社ビジュアルプロセッシングジャパン	CIERTO (シェルト: デジタルアセットマネジメント)
<ASP・SaaS部門社会業界特化系分野>		
賞名	会社名	サービス名
社会業界特化系分野グランプリ	株式会社アドテクニカ	次世代型安否確認サービス【安否コール】
社会業界特化系分野準グランプリ	株式会社エス・エム・エス	介護事業者向け経営支援サービス「カイポケ」
委員会賞	株式会社ファルコバイオシステムズ	電子カルテ HAYATE/NEO (ハヤテ・ネオ)
ベストイノベーション賞	いきいきメディケアサポート株式会社	いきいき訪看
ベストイノベーション賞	株式会社いえらぶGROUP	いえらぶCLOUD
先進技術賞	株式会社大崎コンピュータエンジニアリング	OCEVISTAS mini for 自治体
ベスト連携賞	株式会社エクサス	港湾物流事業者向けeForwarder+NVOCCクラウドサービス
ベスト社会貢献賞	株式会社メドレー	CLINICSオンライン診療
ベスト社会貢献賞	株式会社 日立製作所	鳥獣害対策支援サービス
ニュービジネスモデル賞	株式会社ミラクルソリューション	Cloud Staff
ASPIC会長賞	株式会社エイシス	WEB名刺受発注システム「BIZCARD」
ASPIC会長賞	株式会社エクサス	ACLtoEDIFACT (ACLフォーマットEDIFACT変換システム)

第13回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019受賞企業とサービス名

<ASP・SaaS部門基幹業務系分野>		
賞名	会社名	サービス名
基幹業務系分野グランプリ	株式会社アクティブアンドカンパニー	クラウド型・組織戦略システム／HRオートメーションシステム『サイレコ』
委員会賞	株式会社ミライト	CastingTable3.0
ベストイノベーション賞	TIS株式会社	経費精算モバイルアプリ「Spendia」
先進技術賞	株式会社アクティブコア	activecore marketing cloud (アクティブコアマーケティングクラウド)
先進技術賞	株式会社サムシングファン	動画分析マーケティングツール「DOONUT (ドーナツ)」
ベスト連携賞	株式会社ソリューション・アンド・テクノロジー	WiMS/SaaS経費精算システム
ASPIC会長賞	ユニテックシステム株式会社	手のひら静脈認証式勤怠管理システム『コレクトタイムナビ』
ASPIC会長賞	パーソルプロセス&テクノロジー株式会社	HITO-Link パフォーマンス
<ASP・SaaS部門データ活用系分野>		
賞名	会社名	サービス名
データ活用系分野グランプリ	株式会社リクルートライフスタイル	Airウェイト 待ちの不満を解決する受付管理アプリ
ベンチャーグランプリ	株式会社B-Story	ST&E(スタンディ)
ニュービジネスモデル賞	NTTコミュニケーションズ株式会社	居場所わかるくん+ThingsCloud

第13回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019受賞企業とサービス名

<ASP・SaaS部門支援業務系分野>		
賞名	会社名	サービス名
支援業務系分野グランプリ	株式会社プロット	CYAS(サイアス)
支援業務系分野準グランプリ	株式会社ワンビシアーカイブズ GMOクラウド株式会社 GMOグローバルサイン株式会社	電子契約サービス「WAN-Sign」
支援業務系分野準グランプリ	株式会社バイキューブ	V-CUBE One
委員会賞	株式会社Fleekdrive	Fleekdrive
ベストイノベーション賞	富士フイルムイメージングシステムズ株式会社	クラウド型 ファイル送受信サービスSECURE DELIVER
先進技術賞	ファイルフォース株式会社	Fileforce
先進技術賞	鉄道情報システム株式会社	勤務シフト作成お助けマン
ベスト連携賞	株式会社サパナ	WiLL Cloud
ベスト海外展開賞	株式会社無限	らくらくBOSS
ニュービジネスモデル賞	株式会社HRBrain	HRBrain
ASPIC会長賞	Increments株式会社	Qiita:Team

第13回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019受賞企業とサービス名

<データセンター部門>		
賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	日本電気株式会社	NEC名古屋データセンター
ベスト地域貢献賞	株式会社ミライト・テクノロジーズ	大阪第1データセンター
<IaaS・PaaS部門>		
賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	企業間コラボレーション & DXプラットフォーム「iQuattro®」
準グランプリ	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	DevaaS® 2.0
委員会賞	株式会社インフォマート	BtoBスマートコントラクト
ASPIC会長賞	株式会社ボスコ・テクノロジーズ	SMART Gateway (Simple Management of Access-Restriction Translator Gateway)
<ユーザ部門>		
賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	オザックス株式会社	@Tovas

第13回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019受賞企業とサービス名

<IoT部門>		
賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	IoT-EX株式会社	(IoT-EX)IoT相互接続サービス
準グランプリ	株式会社アート	ALLIGATE
委員会賞	株式会社セラク	みどりクラウド
ベストイノベーション賞	NTTコミュニケーションズ株式会社	Condition Viewer for Worker Care
ベスト連携賞	NECネットエスアイ株式会社	DXプラットフォームサービス「Symphonictプラットフォーム」
ベスト海外展開賞	株式会社ソラコム	IoTプラットフォームSORACOM
ニュービジネスモデル賞	トッパン・フォームズ株式会社	オントレイシス クラウド / Ontrasys Cloud
ASPIC会長賞	株式会社リンクジャパン	eMamo

第13回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019受賞企業とサービス名

<AI部門>		
賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	日本電気株式会社	マイナポータル連携問い合わせ自動応答ソリューション
準グランプリ	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	Deeptector [®]
準グランプリ	NTTコミュニケーションズ株式会社	COTOHA Voice Insight
ベンチャーグランプリ	株式会社サイシード	sAI Search
委員会賞	NTTコミュニケーションズ株式会社	COTOHA Meeting Assist
ベストイノベーション賞	オーシャンソリューションテクノロジー株式会社	トリトンの矛
先進技術賞	GMOクラウド株式会社	Diversity Insight for Retail (ダイバーシティインサイト フォー リテール)
ニュービジネスモデル賞	株式会社ソフトフロントホールディングス	commubo
ASPIC会長賞	GVA TECH株式会社	AI-CON

アワード2019の傾向

(1)企業活動、社会活動を支える業種、業界のクラウドサービスの増加

社会業界特化系(データ活用系を含む)サービスが全体の43%である。

(昨年も40%) (支援業務系31%、基幹業務系25%)

クラウドサービスが着実に社会のインフラとなってきた。

〈 医療介護、自治体、不動産、港湾、鳥獣被害、安否確認、デジタル資産管理等 〉

(2)企業内の活動を支える基幹業務系、支援業務系のクラウドサービスの増加

多様な企業内活動をインフラとして支えるクラウドサービスが増加してきている。

〈 契約、人材活用・教育、経費精算、勤怠管理、ファイル共用等 〉

アワード2019の傾向

(3)独自技術、特許の取得の増加

クラウドサービス提供にあたり、独自の技術を開発し、特許取得・出願を行っている
又、特許のある技術を利用している事業者が増加している。
特に先端技術であるAI、IoT部門については顕著である。

(4)業界での専門性やノウハウのあるサービスの増加

業界特有の専門性や業務ノウハウを高めたクラウドサービスを長期間提供を行い、
市場が成長し、クラウドサービスが業界のインフラとなるとともに事業者のビジネスと
なっている。

〈 不動産、介護、Web会議システム等 〉

アワード2019の傾向

(5)積極的な海外展開

国内で基盤を作り、海外展開を積極的に展開を行っているサービスが増加している。

〈 Web会議システム、IoTプラットフォーム等 〉

(6)新たなビジネスモデルへの挑戦

デジタル資産の管理、ブロックチェーンを使い新たな分野にチャレンジするサービスが出てきている。

(7)クラウド連携サービスとAPIの提供

既存のクラウドサービスを連携して新たなサービスを提供したり、API連携により既存のサービスへの付加価値を付けたサービスの提供を行っている。

(特にAI部門、IoT部門で顕著)

アワード2019の傾向

(8)ベンチャー企業のサービス

特化したノウハウを持ってユニークなサービスを提供している。

〈 企業情報の提供、AI、FAQ等 〉

(9)プラットフォームの提供

IaaS・PaaS部門ではこれからの企業間連携DXのためのプラットフォーム、ソフト開発環境提供プラットフォーム、IoT提供のプラットフォーム、BtoBプラットフォームがビジネスとして立ち上がっている。

(10)ユーザ企業のDXへの取り組み

クラウドを利用して、社内のDXへの取り組みを積極的に行っている。

(11)地域のデータセンター

地域のデータセンターとして、特徴溢れるサービスを提供している。

Ⅱ. クラウドサービス紹介サイト「アスピック」の活動報告

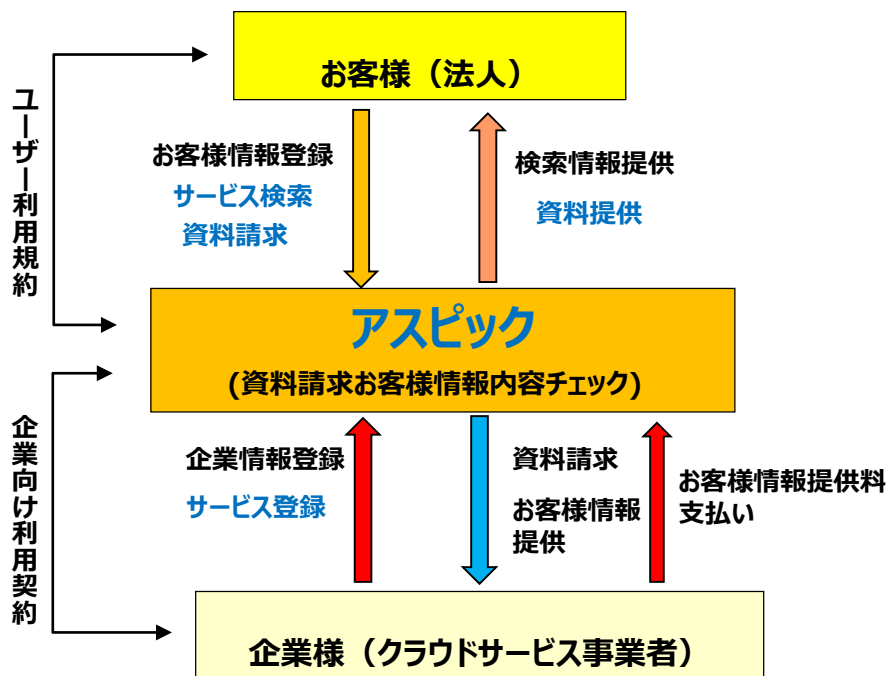
「明日(アス)へ向けてベストサービスをピックアップする」をモットーに法人様ビジネス支援を目的とし、ASPICが運営する法人向けクラウドサービス紹介サイトです。



The image shows a screenshot of the ASPIC website homepage. The background features a group of four business professionals in a meeting, looking at a laptop. The website layout includes a header with the ASPIC logo and navigation links: '無料レポート', 'ジャンルから探す', '特集記事', 'ログイン', and '会員登録(無料)'. The main content area has a large headline: '毎日の工夫を加速させよう。' followed by a sub-headline: '売上アップ、業務効率化、セキュリティ強化につながるITサービスが見つかります。' Below this is a search bar with the placeholder text 'サービス名、ジャンル名 [例：〇〇システム、経費、人事]' and a search icon. At the bottom, there is a section titled '注目のサービス' with the subtext 'おすすめのサービスをピックアップ!'.

アスピックのビジネスモデルと運用実績

アスピック ビジネスモデル



アスピックの運用実績

2019年4月1日 試行運用開始
9月1日 本番運用開始

料金体系

- (i) サイト登録掲載料 (ASPIC会員 無料)
 - 1サービス 10,000円/月(税別)
 - 2サービス目から1サービス 5,000円/月(税別)
- (ii) お客様情報提供料
1件 10,000円(税別)

アスピック登録掲載募集施策

- ① 2019年2月～3月 ASPIC会員会社、情報開示認定取得サービス会社、アワード2014からの受賞企業への登録掲載斡旋（約200社）
- ② 2019年4月～8月 6ヶ月サイト登録掲載料、お客様情報提供料 無料キャンペーン実施

アスピックの活動実績

2019年4月以降のサイト掲載サービス登録数、月間サイト訪問者数、平日サイト訪問者数資料請求数の推移は、下表の通り。

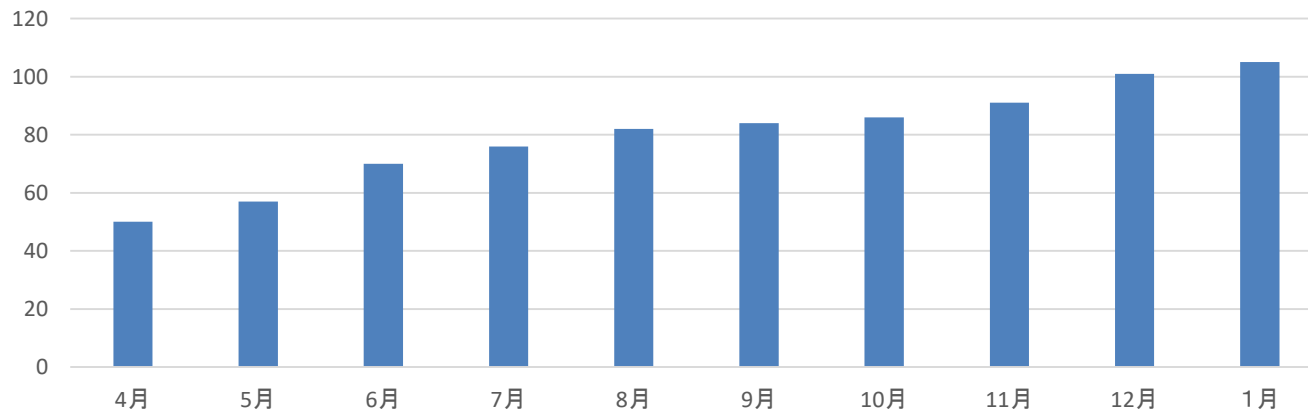
月	サイト掲載 サービス登録数	月間 サイト訪問者数	平日 サイト訪問者数
4月	50	7,500	400
5月	57	13,000	600
6月	70	16,000	800
7月	76	18,500	1,000
8月	82	20,000	1,200
9月	84	27,000	1,500
10月	86	38,000	2,100
11月	91	43,500	2,300
12月	101	47,000	2,400
1月	105	53,300	2,800

各指標共に順調に伸びている。

アスピック推移表

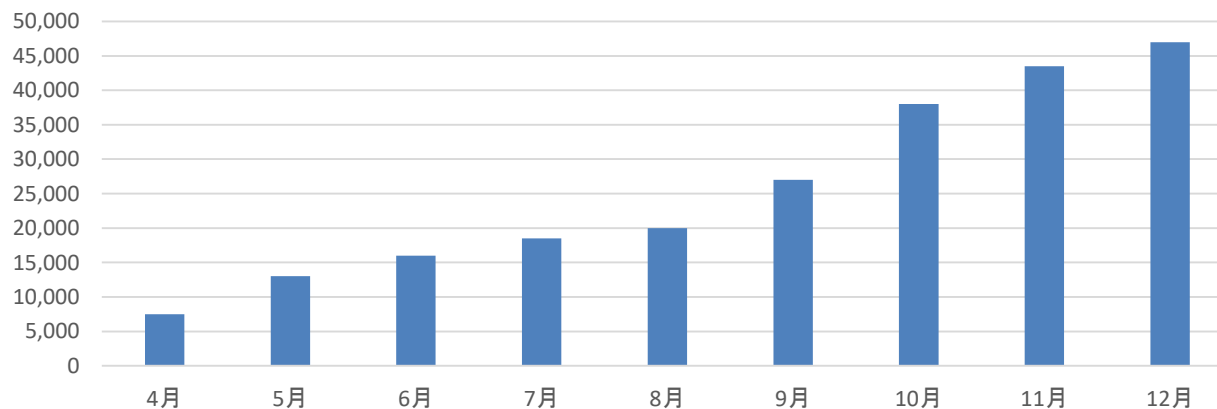
月	サービス 申込数 (累計)
4月	50
5月	57
6月	70
7月	76
8月	82
9月	84
10月	86
11月	91
12月	101
1月	105

サービス 申込数 (累計)



月	月間 訪問者数
4月	7,500
5月	13,000
6月	16,000
7月	18,500
8月	20,000
9月	27,000
10月	38,000
11月	43,500
12月	47,000

月間訪問者数



Ⅲ. クラウドサービス情報開示認定制度

- 正式な名称:「クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定制度」
- 2008年4月運用を開始し、累計254サービス(173社)を認定
- 当初、認定機関:マルチメディア振興センター、認定事務局:ASPICであったが、2017年10月、認定機関をASPICに移管し、ASPICが一元的に運営
- クラウドサービスの利用者が安心してサービスを利用できるようにするため、サービス提供者からの情報開示が適切になされているサービスを認定する制度
- 審査手数料が比較的安価で、中小クラウド事業者にやさしい制度
- 現在、以下の7つの情報開示認定制度がある。



ASP・SaaS
安全・信頼性
情報開示認定
マーク
(平成20年4月
受付開始)



医療情報
ASP・SaaS
安全・信頼性
情報開示認定
マーク
(平成29年10
月受付開始)



特定個人情報
ASP・SaaS安
全・信頼性
情報開示認定
マーク
(平成29年10
月受付開始)



ASP・SaaS
(IoTクラウド
サービス)
安全・信頼性
情報開示認定
マーク
(平成31年12
月受付開始)



IaaS・PaaS
安全・信頼性
情報開示認定
マーク
(平成29年9月
受付開始)



IaaS・PaaS
(IoTクラウド
サービス)
安全・信頼性
情報開示認定
マーク
(平成30年12
月受付開始)



データセンター
安全・信頼性
情報開示認定
マーク
(平成24年9月
受付開始)

■IoTクラウドサービスの情報開示認定制度を新設し運用 2サービスが初認定！



近年、IoT が急速に注目を集めるようになり、本格的なIoT サービスの時代が到来し、クラウド事業者による新たなサービスの開発・提供も広がりを見せています。こうした動向を踏まえ、新たにIoTクラウドサービスの安全・信頼性に係る2018年12月に情報開示認定制度を新設、運用を開始しました。2019年度は2サービスが既に認定取得。

- クラウドサービス事業者がIoTクラウドサービスに参入する際のリスクへの対応方針を盛り込みました。
- 発展期にあるIoTクラウドサービス市場の拡大を促進する制度
サービスが、安心・安全のための総務省公表のガイドライン、指針に準拠した情報開示をしていることを認定することから
 - サービスに対するユーザからの信頼性向上に資する。
 - 事業者のIoTクラウドサービス市場への参入を促進する。
- IoTクラウドサービスのユーザの視点にも立った制度
 - 専門知識の少ないユーザでも、申請項目、申請内容の理解が容易にできる制度
 - ユーザがIoTクラウドサービス及び事業者を評価・選択する際に支援する制度

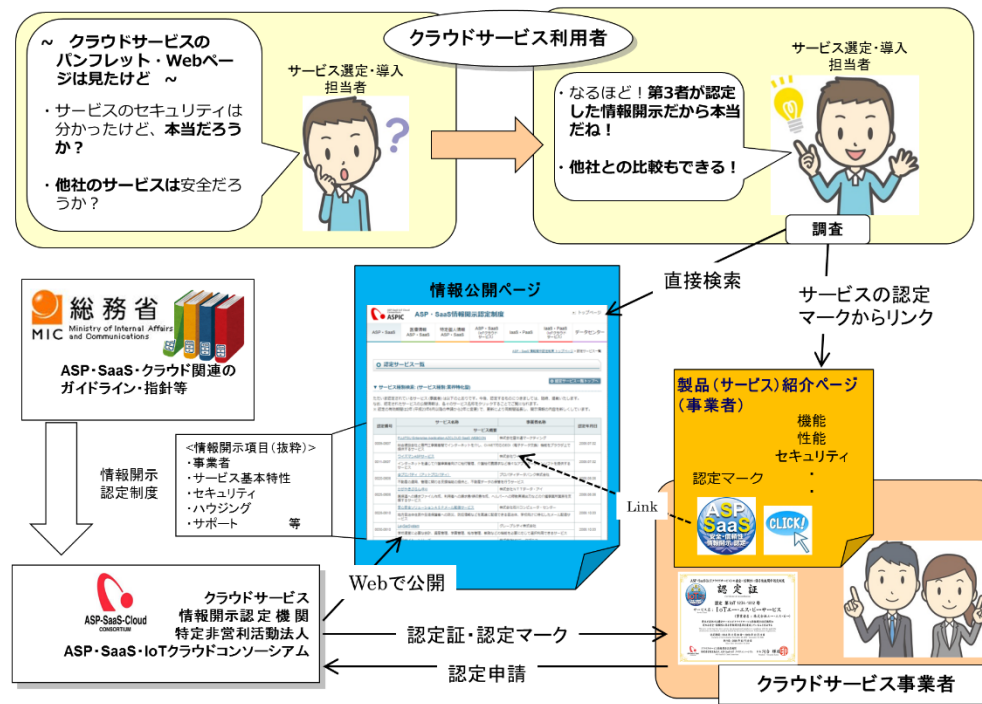
■ 情報開示認定取得勸奨活動を推進

➤ ASPIC・アワードからのパイプライン

- ・アワード応募企業で関心を持たれた企業へ訪問、情報開示認定の意義・メリットを説明
- ・情報開示認定申請セミナーの開催(11月29日)
- ・アワード応募企業で、現時点での認定取得済み2社、認定取得希望16社

➤ クラウドサービスのエンド・ユーザーへの安心・安全の訴求

- ・情報開示認定ホームページのトップページをエンドユーザー向けに改定(12月2日より)
- ・クラウドサービス紹介サイト「アスピック」との連携



■ 情報開示項目(IoTクラウドサービス)

■ ASP・SaaS (IoTクラウドサービス) (中項目:118 小項目:162)

分類	情報開示項目	
事業者	事業所・事業	事業者名、設立年月日、事業所、主な事業の概要
	人材	代表者、役員、従業員数
	財務状況	財務データ、財務信頼性
	資本関係・所属団体	株主構成、所属団体
	コンプライアンス	組織体制、個人情報、守秘義務、従業員教育等、委託、文書類
サービス	サービス基本特性	サービス内容、データ、サービスの変更・終了、契約の終了等、サービス料金、サービス品質、契約者数
	アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等	連携、セキュリティ
	ネットワーク	センター側ネットワーク、PC側ネットワーク、IoT側ネットワーク、セキュリティ
	提供端末	IoT機器 (センサー、アクチュエータ)、GW/エッジコンピュータなど
	推奨端末	IoT機器 (センサー、アクチュエータ)、GW/エッジコンピュータなど
	ハウジング (サーバ設置場所)	施設建築物、非常用電源施設、消火設備、避雷対策設備、空調設備、セキュリティ
	サービスサポート	サービス窓口 (苦情受付・問合せ)、サービス通知・報告・インシデント対応

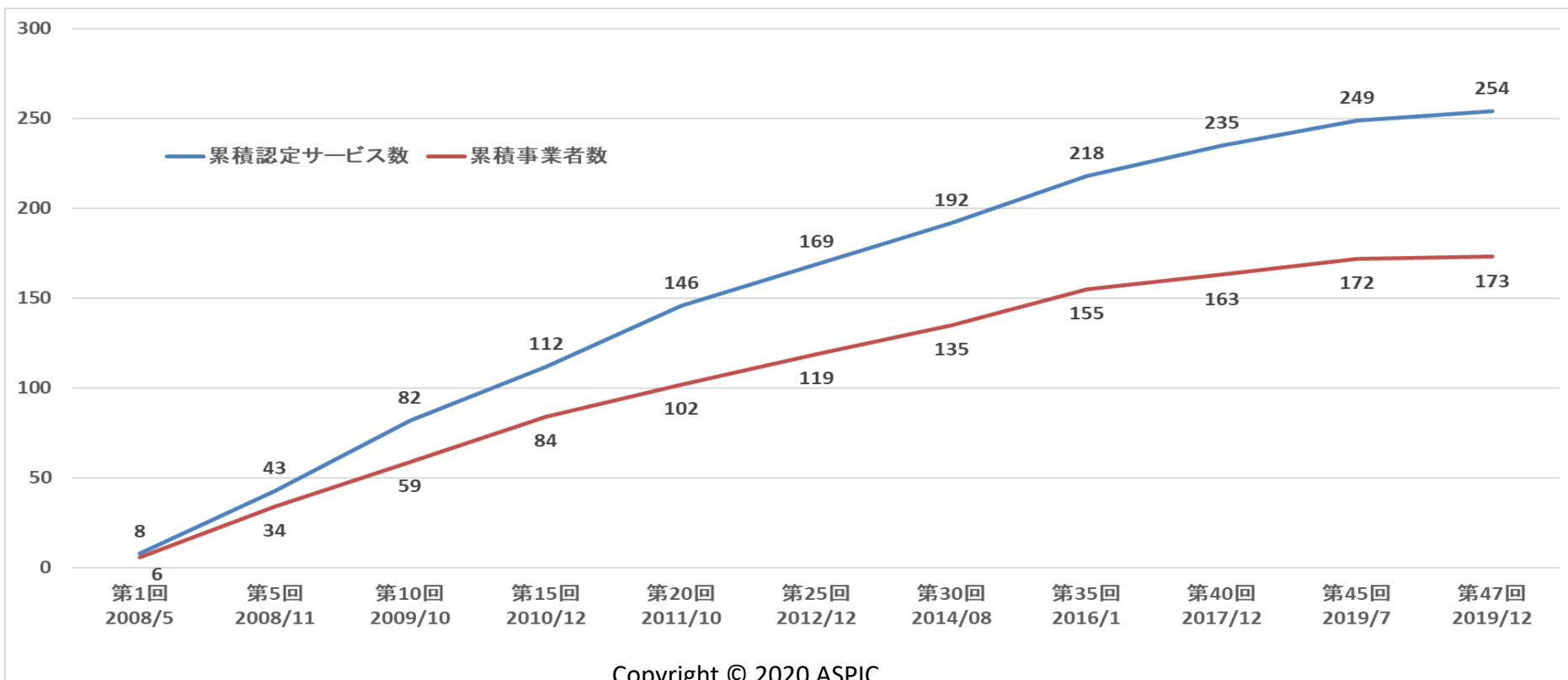
■ IaaS・PaaS (IoTクラウドサービス) (中項目:133 小項目:172)

分類	情報開示項目	
事業者	事業所・事業	事業者名、設立年月日、事業所、主な事業の概要
	人材	代表者、役員、従業員数
	財務状況	財務データ、財務信頼性
	資本関係・所属団体	株主構成、所属団体
	コンプライアンス	組織体制、個人情報、守秘義務、従業員教育等、委託、文書類
サービス	センターサービス	サービス内容、サービス構成 (システム基盤、開発実行基盤、アプリ基盤、ハード基盤、ネットワーク基盤)
	提供端末	IoT機器 (センサー、アクチュエータ)、GW/エッジコンピュータなど
	推奨端末	PC等 (操作端末) IoT機器 (センサー、アクチュエータ)、GW/エッジコンピュータなど
	サービス基本特性	サービス品質、サービスの変更・終了、契約の終了等、サービス料金・解約、契約者数、データ管理
	システム運用 (システム基盤運用、セキュリティ等)	システム基盤運用、セキュリティ (基盤、ストレージ、ネットワーク)
	ハウジング (サーバ設置場所)	施設建築物、非常用電源施設、消火設備、避雷対策設備、空調設備、セキュリティ
	サービスサポート	サービス窓口 (苦情受付・問合せ)、サービス通知・報告・インシデント対応

認定サービス（事業者）の累積数の推移

認定サービス数(累計):254サービス(173社) 2019.12.23現在

- ✓ ASP・SaaS情報開示認定サービス数(運用開始:2008年4月): 231サービス
- ✓ 医療情報ASP・SaaS情報開示認定サービス数(運用開始:2017年10月) 2サービス
- ✓ 特定個人情報ASP・SaaS情報開示認定サービス数(運用開始:2017年10月) 1サービス
- ✓ ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)情報開示認定サービス数(運用開始:2018年12月)2サービス
- ✓ データセンター情報開示認定サービス数(運用開始:2012年9月): 6サービス
- ✓ IaaS・PaaS情報開示認定サービス数(運用開始:2012年9月): 12サービス
- ✓ IaaS・PaaS(IoTクラウドサービス)情報開示認定サービス数(運用開始:2018年12月)1サービス



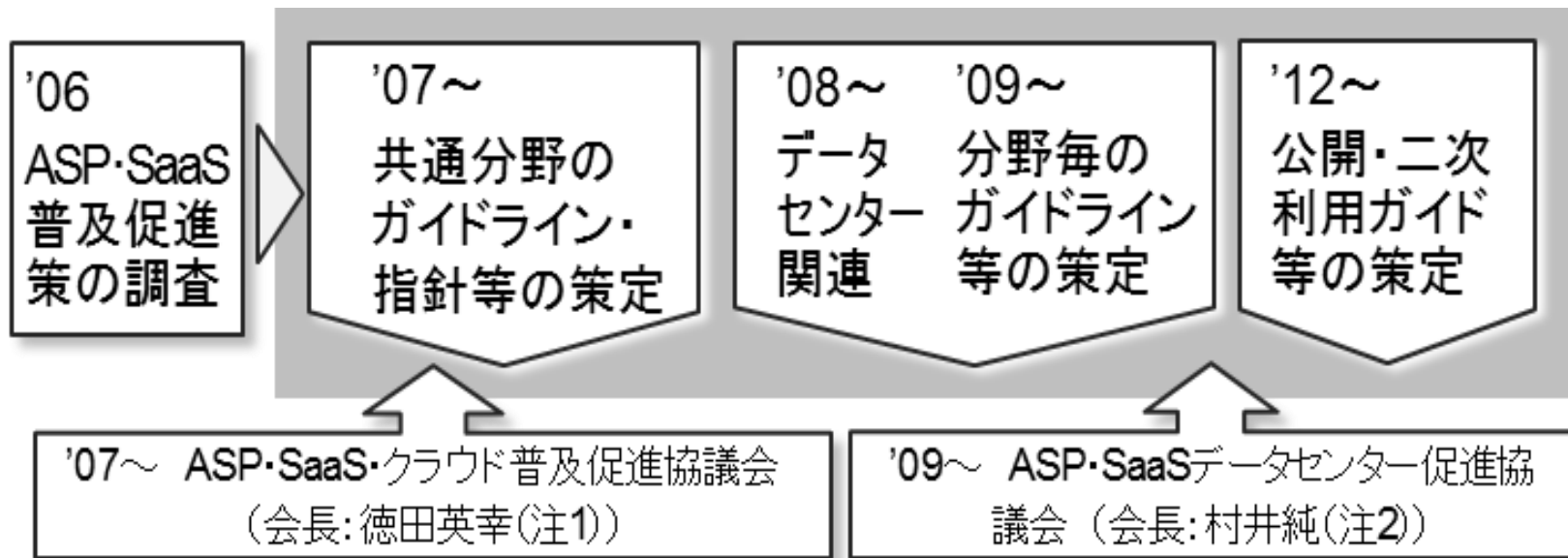
2019年度新規認定サービス

No	サービス名	事業者名	認定の種別
1	セキュアカメラクラウドサービス	株式会社NTTPCコミュニケーションズ	ASP・SaaS (IoTクラウドサービス) 認定
2	オリジナル気象システム HalexDream!	株式会社ハレックス	ASP・SaaS 認定
3	HRオートメーションシステム サイレコ	株式会社アクティブアンドカンパニー	ASP・SaaS 認定
4	IoT相互接続サービス	IoT-EX株式会社	IaaS・PaaS (IoTクラウドサービス) 認定
5	NET119 緊急通報システム	株式会社アルカディア	ASP・SaaS 認定
6	スピーキャン・タイムライン	株式会社アルカディア	ASP・SaaS 認定
7	SkyScraper	株式会社NJS	ASP・SaaS (IoTクラウドサービス) 認定
8	CYAS 【Cyber Attack Simulator】	株式会社プロット	ASP・SaaS 認定

IV. 「安心・安全の推進」に係る取り組み

ASP・SaaS・クラウドサービスの安心・安全な提供並びに利用を推進するため、総務省と合同設置したASP・SaaS・クラウド普及促進協議会、総務省と連携設置したASP・SaaSデータセンター促進協議会を中心に、関係府省、関連団体・大学等有識者と連携し、大きな成果を上げることができました。

2007年（H19年）以来総務省と連携し共通分野を起点に、分野毎、データセンター関連のガイドライン・指針等の策定に作成・協力してきました。加えて情報の公開・二次利用ガイド等の策定にも取り組んでいます。



(注1)国立研究開発法人 情報通信研究機構 理事長

(注2)慶應義塾大学 環境情報学部 学部長 教授

28のガイドライン・指針等の作成・協力（1/2）

※()は公表年、GLはガイドライン

（1）クラウド化の関連 ～事業者向けに加え利用者向けを作成～

▶共通分野：

ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策GL('08)

ASP・SaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針('07)

ASP・SaaS(特定個人情報)の安全・信頼性に係る情報開示指針('17)

ASP・SaaS(医療情報)の安全・信頼性に係る情報開示指針('17)

IoTクラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針（ASP・SaaS編）('18)

IaaS・PaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針('11、'17改定)

IoTクラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針（IaaS・PaaS編）('18)

IoTセキュリティGL('16)

ASP・SaaS事業者間連携ガイド('12)

クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策GL('14、'18改定)

前項GLの使い方ガイド('15)

【利用者向け】

クラウドサービス利用者の保護とコンプライアンス確保のためのガイド('11)

28のガイドライン・指針等の作成・協力（2/2）

※()は公表年、GLはガイドライン

▶分野毎：

クラウド事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理GL('09、'18改定)

前項GLに基づくSLA参考例('10、'18改定)

校務分野におけるASP・SaaS事業者向けGL('10)

クラウドサービス事業者向け「校務分野におけるASP・SaaS事業者向けGL」
の手引書('16)

社会資本分野におけるデータガバナンスガイド('12)

ASP・SaaS・クラウドによる米・米加工品トレーサビリティサービス提供の手引き('12)

【利用者向け】

公共ITアウトソーシングに関するGL('03)

地方公共団体におけるASP・SaaS導入活用GL('10)

▶データセンター：

データセンターの安全・信頼性に係る情報開示指針('09、'11改定)

データセンター利用ガイド('10)

データセンター事業者連携ガイド('12)

(2) 情報の公開・二次利用の関連

地盤情報('12)、社会資本情報('14)、農産物情報('13)、水産物情報('13)、
防災・災害情報(オープンデータ)('13,'14改定)、
防災・災害情報(メンバード)('14)

総務省「クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン」 (第2版) の公表

IV. IoTサービスリスクへの対応方針編の目次

IV.1. 概要

IV.1.1 IoTサービスの特徴付ける三つの観点

IV.1.3 IoTサービスにおいて重視すべきリスク

IV.1.5 第IV部の活用方法

IV.1.2 対象とするIoTサービスの構造

IV.1.4 IoTサービスリスクへの対応の考え方

IV.1.6 IoTセキュリティガイドラインとの関係

IV.2. IoTサービスのリスク

IV.2.1 IoTサービスの提供におけるロールとコンポーネント

IV.2.1.1 IoTサービスの提供におけるロール

IV.2.1.2 IoTサービスの提供に必要なコンポーネント

IV.2.2 三つの観点ごとのリスク

IV.3. 対応策を割り当てるIoTサービスリスクの抽出

IV.4. IoTサービスを提供するクラウド事業者が取るべき対応策の導出

IV.4.1. 対策導出の流れ

IV.4.1.1 IoTサービスの三つの観点ごとのロール、リスク、リスク対応策の関係

IV.4.1.2 クラウド事業者の責任範囲の把握

IV.4.2. 調査テンプレートへの記入例

IV.4.3. リスク対応策導出マップ

IV.5. リスク対応策

平成
29年度

クラウド事業者におけるIoTセキュリティ対策
及び情報開示に関する検討会

平成26年に総務省から公表された「クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン」に、IoTサービスにおける関係者間の役割・責任の分担の観点を追加したガイドラインとIoTに関する情報開示指針を策定。

ASP・SaaS・クラウド事業者が医療情報を
取り扱う際の安全管理に関する検討委員会

平成22年に総務省から公表された「ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン」に、厚労省の医療情報ガイドライン(第5版)や個人情報保護法の改定等を反映した改定版を策定。

平成
26年度

校務分野におけるクラウドサービスの利
活用普及に関する調査研究有識者会合

2010年総務省発行の「校務分野におけるASP・SaaS事業者向けガイドライン」をクラウド事業者がどのように解釈するかを示した「手引書」の作成

平成
27年度

情報開示指針高度化検討委員会

「医療情報を取り扱うサービス」及び「特定個人情報を取り扱うサービス」に係る情報開示指針の新設・検討と、既存の情報開示指針についても改訂に向けた検討を行い、「クラウドサービス情報開示指針(改訂)案」を策定。

平成
28年度

情報開示指針高度化参照ガイド検討委員会

「機微な情報の取扱いにおいて留意を要する医療情報や、特定個人情報の取扱いを含め、サービスの利用者に対して、クラウドサービス情報開示指針の制度趣旨、利用方法、開示内容の目的・読み方等を解説した「クラウドサービス利用者のための情報開示指針参照ガイド」を策定した。

平成
25年度

社会資本情報の公開・二次利用
検討委員会

実証実験に基づく橋梁等の情報を公開、二次利用する際に必要となる事項や留意事項についてのガイドの作成

防災・災害情報の公開・二次
利用検討委員会

復旧・復興期における情報の公開、二次利用をライフレイン民間企業まで拡大する際に必要となるガイドの作成(オープン/メンバード領域)

クラウドサービスの提供における
情報セキュリティ対策調査検討委員会

管理運用や情報提供に係る技術的な実装と、利用者接点/サービスレベルの設定・合意等に係る詳しい実務を解説するガイドの検討を行い、提案する

平成
24年度

地盤情報の公開・二次利用
検討委員会

地盤情報を公開、二次利用する際に必要となる事項や留意事項についてのガイドの作成

生鮮農産物情報の提供・二次
利用検討委員会

農産物情報を提供、二次利用する際に必要となる事項や留意事項についてのガイドの作成

水産物情報の提供・二次
利用検討委員会

水産物情報を提供、二次利用する際に必要となる事項や留意事項についてのガイドの作成

防災・災害情報の公開・二次
利用検討委員会

防災・災害情報を公開、二次利用する際に必要となる事項や留意事項についてのガイドの作成

平成
23年度

社会資本分野のデータガ
バナンス指針検討委員会

社会資本分野におけるデータの蓄積・管理(一次利用)、及び二次利用に関するデータガバナンスガイドの作成

地盤情報の二次利用
検討分科会

公的セクターが所有する地盤情報の二次利用を促進するためのガイドの作成

食品流通情報
サービス展開委員会

米トレーサビリティ法の遵守や努力義務への取り組みを支援するためのレファレンスモデルに係る手引きの作成

ASP・SaaS事業者間
連携推進委員会

ASP・SaaS事業者同士が連携してサービスを提供する際の留意事項に係る連携ガイドの作成

平成
22年度

社会資本情報
サービス展開委員会

社会資本の老朽化が進む中、効率的な維持管理に有効な手段であるASP・SaaSの利活用方策を中心に基礎的な検討を推進

食品流通情報
サービス展開委員会

「米トレーサビリティ制度」の円滑な運用に資するASP・SaaS導入の可能性と課題を整理し、事業者が留意すべき事項等の取りまとめを実施

クラウドサービス利用者の
権利保護のあり方検討委員会

クラウドサービス利用者の保護とコンプライアンス確保のための利用者向けのガイド並びにクラウドサービスの安全信頼性に係る情報開示指針を策定

平成
21年度

教育分野サービス展開委員会

校務分野でのASP・SaaS展開に向けた課題の整理、その解決の方向性等の検討を行い、それら成果をもとに事業者向けのガイドラインを策定

社会サービス展開委員会

ASP・SaaSモデルの普及が見込まれる社会サービスに係る有望分野(例: 農水分野等)を分野横断の視点から分析検討

医療・福祉情報サービス展開委員会

医療機関との間で事業者が契約時に合意すべき事項(サービスレベルや責任分界等)に関する具体的な合意例につき、SLA参考例を作成

平成
20年度

安全・信頼性委員会

データセンター情報開示指針の策定、およびASP・SaaS認定制度の検討

社会サービス展開委員会

社会サービス分野へのASP・SaaSモデルの展開と課題の整理

医療・福祉情報サービス展開委員会

医療情報を取り扱うASP・SaaS事業者の安全管理と情報開示に関するガイドラインの策定

平成
19年度

安全・信頼性委員会

ASPサービスや事業者の安全・信頼性指針の策定及び事業者認定制度の導入を検討

ASP連携委員会

ASPの相互利用促進のためのインターフェースの公開、役割分担の明確化等を検討

企業ディレクトリ委員会

ネットワークを利用する企業について公開情報を基にしたディレクトリの構築を検討

国際連携委員会

ASPについて先行する日本のノウハウを活かしたアジア等諸外国との連携方策を検討

ASP・SaaS・クラウド関連のガイドライン・指針等の策定状況

		分野共通	地方公共団体	医療・介護	教育	社会資本	農林水産	
ASP・SaaS・クラウド事業者向け	クラウドの利用促進	クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン2版(注1) (総務省、2018.7改定)	クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針 (総務省、2011.12、2017.3改定)	クラウド事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン(総務省2018.7 下の破線枠内ガイドラインを改定)	校務分野におけるASP・SaaS事業者向けガイドライン (総務省、2010.10)		ASP・SaaS・クラウドによる米・米加工品トレーサビリティサービス提供の手引き (総務省、2012.7)	
		IoT サービスリスクへの対応方針編 (総務省、2018.7)	ASP・SaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針 (総務省、2017.3改定)	ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン(総務省2009.7改定)	クラウドサービス事業者向け「校務分野におけるASP・SaaS事業者向けガイドライン」の手引書 (総務省、2016.3)			
		ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策ガイドライン (総務省、2008.1)(注2)	ASP・SaaS(特定個人情報)の安全・信頼性に係る情報開示指針 (総務省、2017.3)	ガイドラインに基づくサービス仕様適合開示書及びサービス・レベル合意書(SLA)参考例 (総務省、2018.7 下の破線枠内の参考例をもとに改定)				
		クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン(総務省、2014.4)(注3)	ASP・SaaS(医療情報)の安全・信頼性に係る情報開示指針 (総務省、2017.3)	ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドラインに基づくSLA参考例(総務省、2010.12)				
		クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン使い方ガイド(ASPIC、2015.1)	IoTクラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針(ASP・SaaS編) (総務省、2018.10)	医療情報を受託管理する情報処理事業における安全管理ガイドライン(経産省、2008.3、2012.10改定)				
		ASP・SaaS事業者間連携ガイド(総務省、2012.7)	IaaS・PaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針 (総務省、2017.3改定)					
		データセンター事業者連携ガイド(ASPIC 2012.12)	IoTクラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針(IaaS・PaaS編) (総務省、2018.10)					
		クラウド事業者による情報開示の参照ガイド(IPA 2011.4)	データセンターの安全・信頼性に係る情報開示指針(総務省、2017.3改定)					
利用者向け		IoTセキュリティガイドライン(IoT推進コンソーシアム、2016.7)	データセンター利用ガイド(ASPIC、2010.10)	医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第5版(厚労省、2017.5改定)	学校情報セキュリティ推奨仕様書第1.0版(CEC、2010)	社会資本分野におけるデータガバナンスガイド(総務省、2012.7)	米・米加工品の内部トレーサビリティ確保の手引き (農水省、2011.11)	
		クラウドサービス利用者の保護とコンプライアンス確保のためのガイド(ASPIC、2011.7)	クラウドサービスの利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン(経産省、2011.4、2014.3改定)	地方公共団体におけるASP・SaaS導入活用ガイドライン(総務省、2010.4)				
		中小企業のためのクラウドサービス安全利用の手引き(IPA、2011.4)	SaaS向けSLAガイドライン(経産省、2008.1)	公共ITにおけるアウトソーシングに関するガイドライン(総務省、2003.3)	総合情報化計画の一環としての校務情報化に関するガイドライン(APPLIC、2009)			

(注1)：「IoTサービスリスクへの対応編」を追加し、(注2)と(注3)のガイドラインを統合して改定

凡例： ASPIC作成・協力

情報の公開・二次利用関連のガイドの策定状況

	分野 共通	地 公 体	社会資本					農林水産		防災・災害
			共通	地盤	道路	橋 梁	ト ン ネル			
オープンな情報領域	情報作成者・情報保有者向け		社会資本分野におけるデータガバナンスガイド (総務省、2012.7)	地盤情報の公開・二次利用促進のためのガイド (総務省、2012.7 2013.6改定)	社会資本情報のオープンデータ化・二次利用促進のためのガイド (ASPIC、2014.12)			農産物情報の提供・二次利用ガイド (ASPIC、2013.6)	水産物情報等の提供・二次利用ガイド (ASPIC、2013.6)	防災・災害情報のオープンデータ化・二次利用促進のためのガイド (総務省、2013.6 ASPIC、2014.12改定)
	ASP・SaaS・クラウド事業者向け									
	利用者向け									
メンバードな情報領域	情報作成者・情報保有者向け									防災・災害情報のメンバードな公開・二次利用促進のためのガイド (ASPIC、2014.12)
	ASP・SaaS・クラウド事業者向け									
	利用者向け									

V.国等委員会への参画

最近の取り組み

① 政府調達関連

- 2018年度より、「クラウドサービスの安全性評価に関する検討会」および「管理基準WG」(総務省 & 経済産業省)
- に委員として参加。(検討会9回開催)

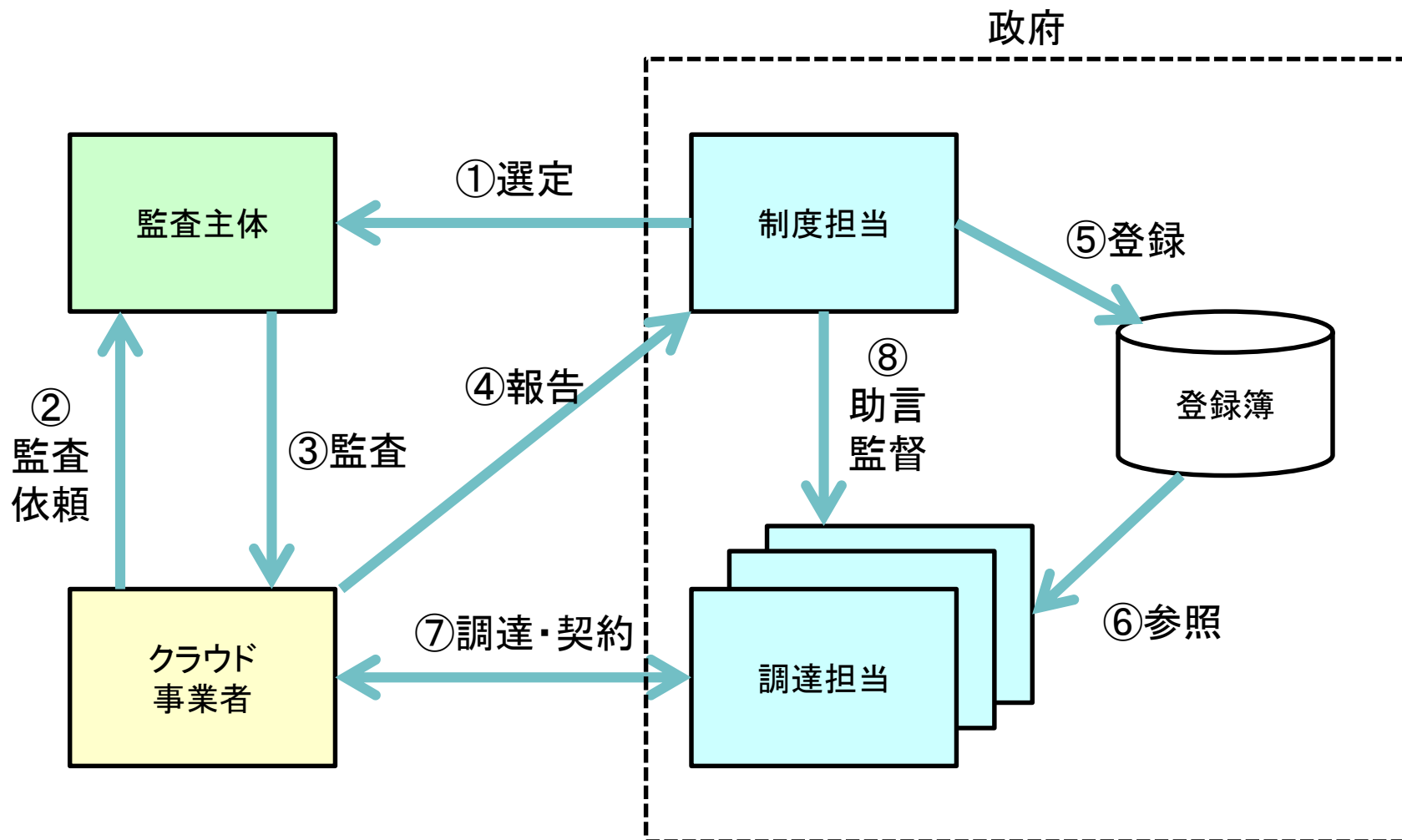
② 医療情報サービスガイドラインの統合関連

- 2018年度より、「医療情報を受託する情報処理事業者の安全管理ガイドライン改定検討会」(総務省 & 経済産業省)に委員として参加(検討会8回開催)

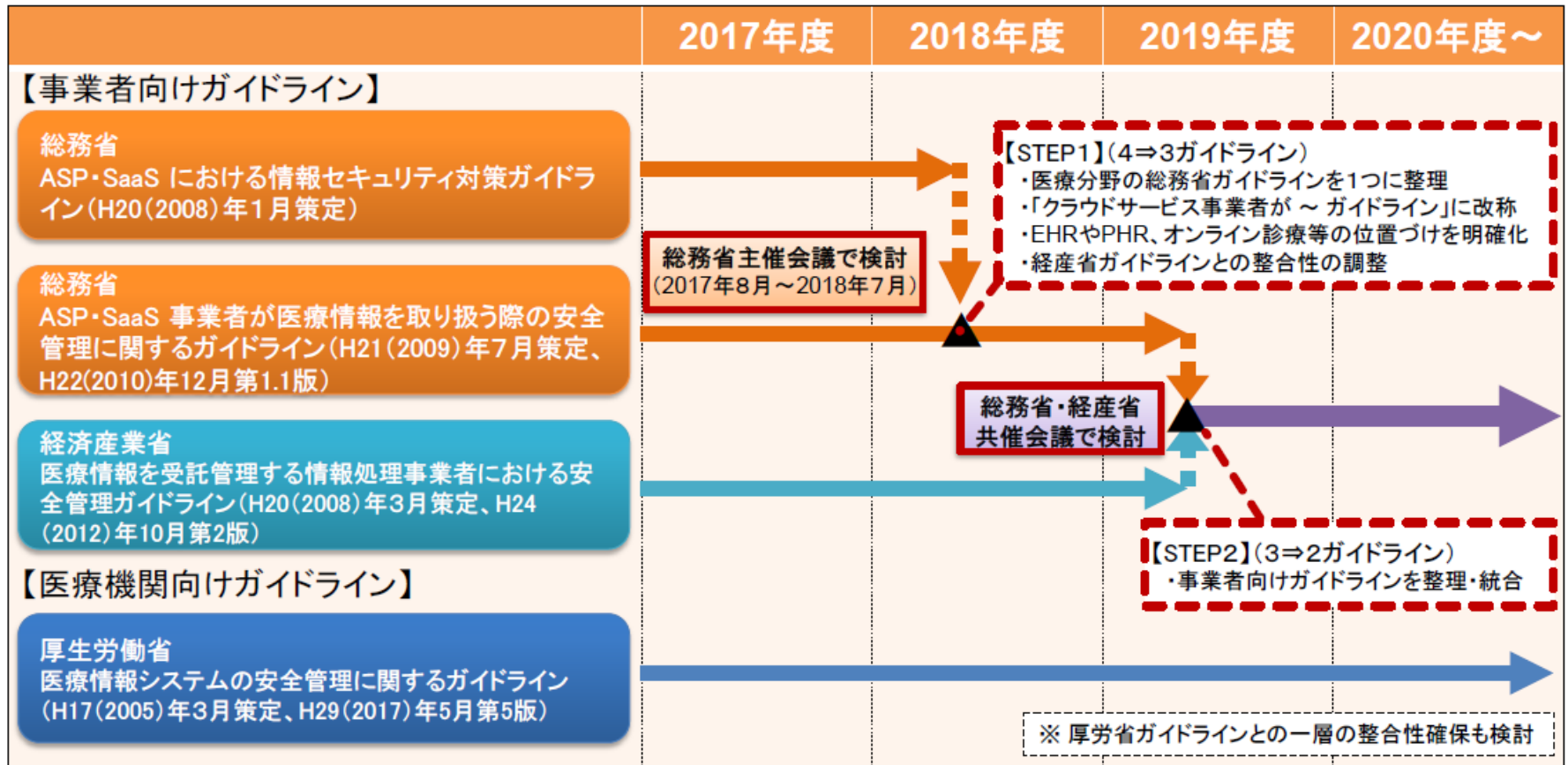
③ スマートシティ関連

- 2019年度より「スマートシティ検討会」(総務省)に委員として参加(2020.1.27に第1回検討会を開催)

①政府調達登録制度の導入



②医療情報ガイドラインの統合



②医療情報ガイドラインの統合

1. 本ガイドラインの基本方針
2. 本ガイドラインの対象
3. 医療情報の安全管理に関する義務・責任
4. 医療機関等への情報提供と合意形成
5. 情報システム・サービス提供上のリスクへの対応ポリシー

6. 医療分野における制度上の要求事項

用語集

別紙：厚労省のガイドラインとの対応表

別添：ガイドラインに基づくサービス仕様適合開示書及びサービス・レベル合意書（SLA）参考例

VI.ビジネス支援

①新春特別講演会・賀詞交歓会の開催

特別講演「平成31年度 総務省ICT関連施策について」

総務省 犬童周作情報流通振興課長

賀詞交歓会

来賓 総務省 犬童周作情報流通振興課長

総務省 山路栄作データ通信課長



会場の様子



犬童課長のご講演

②会員情報交換会の開催

- ・自社事業・サービスの訴求・PR
- ・ビジネス連携チャンス
- ・人脈形成、ビジネスヒント
- ・ASPIC活動への意見・要望・提言

***2回開催(毎回8社限定)、**

17会員 29人参加、評価(大変有益・有益96%)



意見交換会



名刺交換会

Ⅶ. ASPICクラウド研究会の推進

クラウド研究会は会員企業のビジネス支援を目的として下記テーマで開催している。各研究会とも時機を得た講演テーマ・内容でビジネスへの実践・反映ができ、講師を交えた名刺交換会による情報交換は人脈形成が図れると大変好評である。

2018年4月～2020年1月 開催合計44回

参加者累計約1500名

- | | |
|--------------------|------------------|
| ①IoT研究会(11) | ⑦オープンデータ研究会(3) |
| ②AIサービス研究会(8) | ⑧医療・介護クラウド研究会(4) |
| ③クラウドセキュリティ研究会(3②) | ⑨マーケティング研究(3②) |
| ④ICT政策研究会(3) | ⑩ベンチャー研究会(1①) |
| ⑤農業クラウド研究会(1) | ⑪法務研究会(①) |
| ⑥新技術研究会(5) | ⑫クラウド人材採用研究会 (2) |

※()内は実施回数、丸数字は他研究会と共催回数再掲

クラウド研究会実施状況一覧

クラウドIoT研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
1	第13回クラウドIoT研究会	データ通信	「IoT関連の政策と技術の動向について～データ通信の現状と今後について～」	総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課 企画官 高村 信	2018.5.31
2	第14回クラウドIoT研究会&第16回クラウドセキュリティ研究会共同開催	IoTリスク	総務省が公表した「クラウド事業者がIoTサービスを提供する際のリスクへの対応方針」の解説	ASPIC 執行役員 三笠 武則	2018.8.1
3	第15回クラウドIoT研究会	データ流通／データ主導社会	クラウド事業者のためのIoT時代のデータ流通と品質、及びデータ主導社会に向けたビジョン	①データ流通推進協議会の取り組み 一般社団法人データ流通推進協議会 事務局長 眞野 浩 ②クラウド事業者のためのIoT時代のデータ流通とデータ品質 一般社団法人データ流通推進協議会 技術基準検討委員会 副委員長 廣海 緑里	2019.1.23
4	第16回クラウドIoT研究会&第18回クラウドセキュリティ研究会	IoTリスク	総務省が公表した「クラウド事業者がIoTサービスを提供する際のリスクへの対応方針」の解説(第2回)	ASPIC執行役員 三笠 武則 同 日高 昇治	2019.2.1
5	第17回クラウドIoT研究会	エッジコンピューティング	「IoT／エッジコンピューティングの適用と将来像～富士通のIoT Platform戦略～」	富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部 IoTビジネス事業部 シニアディレクター 黒下 和正	2019.3.14

クラウドIoT研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
6	第18回クラウドIoT研究会	IoT	「IoT導入事例」に見る価値創出パターンとそのベストプラクティス	早稲田大学 研究戦略センター 教授 稲田 修一	2019.4.24
7	第19回クラウドIoT研究会	無線通信	IoT×クラウドのキーテクノロジーLPWAと次世代携帯電話網5Gの動向を知る	千葉大学 名誉教授 阪田 史郎	2019.7.3
8	第20回クラウドIoT研究会	セキュリティ	今後のデータ政策の展開とクラウドサービスの安全性評価について	経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長補佐 関根 悠介	2019.6.12
9	第21回クラウドIoT研究会&第21回新技術クラウド研究会	新技術・IoT	KDDIの5G・IoTビジネスへの取り組み	KDDI株式会社 ソリューション事業 企画本部 5G・IoTサービス部長 野口 一宙	2019.11.27
10	第22回クラウドIoT研究会	IoTリスク	総務省が公表した「クラウド事業者がIoTサービスを提供する際のリスクへの対応方針」の解説	ASPIC執行役員 三笠 武則	2019.12.23
11	第23回クラウドIoT研究会	IoT創出事業	ICT/IoTによる新サービスの創出に向けて～総務省の取組～	総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 企画官 石谷 寧希	2020.1.31

AIサービス研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
12	第7回 AIサービス研究会 & 第5回法務研究会共同 開催	法務・制度	「IoT・AIサービスの法的問題点と制度的な課題」	御宿・長町法律事務所 弁護士 松元 優季	2018.07.04
13	第8回AIサービス研究会	AI最前線	「AI最前線」	国立研究開発法人・産業技術総合 研究所 情報・人間工学領域・人工知能研究 戦略部 上席イノベーションコーディネーター 杉村 領一	2018.07.24
14	第9回AIサービス研究会	AI活用戦略	「先進的なAI活用に向けて」	株式会社NTTデータ 技術開発本部 エボリューションITセンタ 先進AI 技術担当部長 稲葉 陽子	2018.09.14
15	第10回AIサービス研究会	銀行業務	「AIが変える2025年の銀行業務」	株式会社NTTデータ経営研究所 金融 経済事業本部 パートナー 金融政 策コンサルティングユニット長 大野 博堂	2018.10.29
16	第11回AIサービス研究会	契約ガイド ライン	「AI・データの利用に関する契約ガイドラインの 概要」	経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長 松田洋平	2018.12.06
17	第12回AIサービス研究会	医療AI	「AI・IoT・データ利活用による近未来の医療・ヘル スケア」	株式会社 日立製作所 ヘルスケアビ ジネスユニット CLO 宇賀神 敦	2019.2.27
18	第13回AIサービス研究会	AI経済	AI経済検討会報告～インクルーシブなAI経済 社会に向けて	総務省 情報通信政策研究所 調査研究部長 山田 協 様	2019.10.3
19	第14回AIサービス研究会	AI活用	並外れたAIサービスの実現～スーパーコン ピュータ「富岳」を使うクラウド事業の募集	国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター 高性能ビッグデータ研究チーム チームリーダー 佐藤 健斗様 運用部門 部門長 庄司 文由様	2019.12.11

オープンデータ研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
20	第11回オープンデータ研究会	オープンデータ公開と活用	「オープンデータの公開と活用の推進について」	内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室 内閣参事官 山路 栄作	2018.04.20
21	第12回オープンデータ研究会	ビジネス事例	「データがもたらすビジネスへのインパクトと課題」	一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事 坂下 哲也	2018.10.17
22	第13回オープンデータ研究会&第26回マーケティング研究会	ビジネス事例	ビッグデータ等を活用したクラウドサービスの3事例とデータ活用系ビジネスの将来性 ①気象データを活用したオリジナル気象サービス ②自治体地図情報を活用した案内地図作成サービス ③犯罪データを活用した防犯見守りサービス	①(株)ハレックス 常務取締役 ビジネスソリューション事業部長 足海 義雄 ②(株)パスコ 事業統括本部 事業推進部長 北川 正己 ③Moly (株) 代表取締役CEO 河合成樹	2019.1.30

医療・介護クラウド研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
23	第8回医療・介護クラウド研究会	データhealth改革	「厚生労働省が進めるデータヘルス改革の取組状況」	厚生労働省 政策統括官付 情報化担当参事官室 政策企画官 笹子 宗一郎	2018.05.23
24	第9回医療・介護クラウド研究会	医療情報ガイドライン	「クラウドサービス事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン第1版」のポイント解説	一般財団法人 医療情報システム開発センター(MEDIS) 理事長 山本 隆一	2018.09.11
25	第10回医療・介護クラウド研究会	認知症介護	「認知症の科学的な介護とICT」	認知症介護研究・研修センター センター長 山口 晴保	2018.10.18
26	第11回医療・介護クラウド研究会	オンライン診療	「オンライン診療の現状と今後の展望」	株式会社メドレー 代表取締役医師 豊田 剛一郎	2018.11.20

マーケティング研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
(40)	第24回マーケティング研究会 & 第7回ICT政策研究会	マイナンバー制度	「マイナンバー制度の現状と今後の展望」	内閣官房 番号制度推進室 企画調整官 西澤 雅道	2018.05.25
27	第25回マーケティング研究会&第7回ベンチャー研究会	東証上場	「スタートアップから東証一部上場までの軌跡」	株式会社カナミックネットワーク 取締役会長 山本 稔	2018.11.14
(14)	第26回マーケティング研究会&第13回オープンデータ研究会	ビジネス事例	ビッグデータ等を活用したクラウドサービスの3事例とデータ活用系ビジネスの将来性 ①気象データを活用したオリジナル気象サービス ②自治体地図情報を活用した案内地図作成サービス ③犯罪データを活用した防犯見守りサービス	①(株)ハレックス 常務取締役 ビジネスソリューション事業部長 足海 義雄 ②(株)パスコ 事業統括本部 事業推進部長 北川 正己 ③Moly (株) 代表取締役CEO 河合 成樹	2019.1.30
28	27回マーケティング研究会&第8回ベンチャー研究会 & 第10回農業クラウド研究会	農業	「世界初 幕張新都心の地下共同溝を活用した無人植物工場とは」	千葉県 企業土地管理局 副局長 土岐 健文	2019.3.19
29	第28回マーケティング研究会	動画マーケティング	「5G時代の動画マーケティング」	立命館大学 経営学部 客員教授 / 株式会社サムシングファン 代表取締役 藪本 直樹	2020.1.29

ベンチャー研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
30	第6回ベンチャー研究会	新規事業開発留意点	「新規事業スタートアップ ―企業における新規事業開発の留意点―」	(株)NTTデータ経営研究所 シニアマネジャー 白橋 賢太郎	2018.07.11
(19)	第7回ベンチャー研究会&第25回マーケティング研究会	東証上場	「スタートアップから東証一部上場までの軌跡」	株式会社カナミックネットワーク 取締役会長 山本 稔	2018.11.14

新技術研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
31	第17回新技術クラウド研究会	自動運転	「ITインフラ+D19:D31の自動運転を実現するOracle社の基本戦略」	日本オラクル株式会社アライアンス統括 パートナープログラム& コミュニケーション本部 シニアマネジャー 菊池 亮	2018.11.28
32	第18回新技術クラウド研究会	ブロックチェーン	「 <u>ブロックチェーンの技術的特徴とエンタープライズへの適用</u> 」	株式会社 日立製作所 システム&サービスビジネス統括本部 OSSソリューションセンタ Blockchain推進部 主任技師 江丸 裕教	2019.3.27
33	第19回新技術クラウド研究会	ブロックチェーン	<u>ブロックチェーン技術によるクラウドビジネスへのインパクト</u>	東京大学大学院情報学環 准教授 高木総一郎様	2019.9.25
34	第20回新技術クラウド研究会	量子コンピュータ	<u>量子コンピュータ開発と現状とクラウドビジネスへのインパクト</u>	大阪大学 名誉教授 井元 信之 様	2019.10.11
35	第21回新技術クラウド研究会兼第21回クラウドIoT研究会	5G	<u>KDDIの5G・IoTビジネスへの取り組み</u>	KDDI株式会社 ソリューション事業 企画本部 5G・IoTサービス部長 野口 一宙 様	2019.11.27

農業クラウド研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
36	第11回 農業クラウド研究会	スマート農業	農林水産省が推進するロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の最前線～「スマート農業関連実証事業」と「農業データ連携基盤（WAGRI）の本格運用」について～	農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 課長補佐 豊井一徳 農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室 課長補佐 高野 守	2019.7.30

クラウドセキュリティ研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
(2)	第17回クラウドセキュリティ研究会 & 第14回クラウドIoT研究会	IoTセキュリティ	総務省が公表した「クラウド事業者がIoTサービスを提供する際のリスクへの対応方針」の解説	ASPIC 執行役員 三笠 武則	2018.08.01
(4)	第18回クラウドセキュリティ研究会 & 第16回クラウドIoT研究会	IoTリスク	総務省が公表した「クラウド事業者がIoTサービスを提供する際のリスクへの対応方針」の解説(第2回)	ASPIC執行役員 三笠 武則 同 日高 昇治	2019.2.1
37	第19回 クラウドセキュリティ研究会	サイバーセキュリティ	産業分野におけるサイバーセキュリティ政策	経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課長 奥家敏和	2019.4.17
38	第20回 クラウドセキュリティ研究会	安全性評価	今後のデータ政策の展開とクラウドサービスの安全性評価について	経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長補佐 関根 悠介	2019.6.12
39	第21回 クラウドセキュリティ研究会兼海外展開研究会	グローバル対応	講演1: Multi-layered Security Technologies for hyper-connected smart cities 講演2: SG17	NTTデータ経営研究所 社会基盤事業本部 社会システムデザインユニット コンサルタント 北野 剛大様 NTTデータ経営研究所 社会基盤事業本部 社会システムデザインユニット ユニット長 パートナー 上瀬 剛様	2020.1.23

ICT政策研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
40	第7回 ICT政策研究会 & 第24回 マーケティング研究会	マイナンバー制度	「マイナンバー制度の現状と今後の展望」	内閣官房 番号制度推進室 企画調整官 西澤 雅道	2018.05.25
41	第8回 ICT政策研究会	IT新戦略	IT新戦略のポイント	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 内閣参事官 吉田 宏平	2019.8.28
42	第9回 ICT政策研究会	情報通信白書	情報通信白書2019解説～進化するデジタル経済とその先にあるSociety 5.0	総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 情報通信経済室 室長 藤井 信英	2019.9.3

法務研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
(12)	第5回法務研究会&第7回 AIサービス研究会共同開催	IoT・AIサービス	「IoT・AIサービスの法的問題点と制度的な課題」	ASPIC顧問弁護士事務所 御宿・長町法律事務所 弁護士 松元 優季	2018.07.04

クラウド人材研究会

NO	研究会	区分	テーマ	講師(敬称略)	実施月日
43	第1回 クラウド人材採用研究会	専門学校生採用	知られざる専門学校と採用のPOINT	(株)ビーアライブ 代表取締役 米澤 豊	2019.5.29
44	第2回 クラウド人材採用研究会	留学生採用	IT系専門学校生(日本人/留学生)の就職動向と成功ポイント	(株)ビーアライブ 営業企画担当 藤田 邦夫 様 中央情報専門学校 就職部長 市川 直洋 氏	2019.10.30

Ⅷ. 総務省 IoTサービス実証・実装事業への参画

H29年度IoTサービス創出支援実証事業への参画



[総務省トップ](#) > [広報・報道](#) > [報道資料一覧](#) > IoTサービス創出支援事業(平成29年予算)に係る委託先候補の決定

報道資料

平成29年7月7日

IoTサービス創出支援事業(平成29年予算)に係る委託先候補の決定

総務省では、IoTサービス創出支援事業(平成29年度予算)に係る提案の公募を行い、外部有識者による評価を踏まえ、委託先候補を決定いたしました。

1 事業概要

本事業は、情報通信審議会の「IoT／ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方について第三次中間答申」(平成29年1月27日)等において提言された、データ利活用を促進するモデルを構築するとともに、必要なルールの明確化等を行うことを目的とした事業です。

具体的には、地方公共団体、大学、ユーザー企業等から成る地域の主体が、生活に身近な分野におけるIoTサービスの実証事業に取り組み、克服すべき課題を特定し、その解決に資するリファレンス(参照)モデルを構築するとともに、データ利活用の促進等に必要なルールの明確化等を行うものです。

2 決定内容

平成29年4月11日(火)から同年5月17日(水)まで公募を行ったところ、125件の提案がありました。今般、別紙1の構成員から成る「IoTサービス創出支援事業の評価に関する会合」における評価を踏まえ、以下の9件を委託先候補として決定しました。

なお、現時点の各委託先候補の提案の概要は別紙2のとおりです。

No	代表提案者	事業名	実施地域
1	アジア航測株式会社	リアルタイム車載カメラ画像等IoTを用いた迅速な災害時対応と配送支援モデル事業	神奈川県川崎市
2	特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT・クラウド エンソーシウム	認知症対応型IoTサービス	高知県高知市(横浜、塚ノ原、春野町)高知県いの町中追地域
3	株式会社アルファシステム	ウェアラブルにより高齢者療養の場における日常生活リスクを予防する医療IoTシステムの構築	秋田県仙北市
4	社会福祉法人グロー	障害者総合サービス:生涯を支える環境づくり	滋賀県湖南市・甲賀市
5	一般財団法人SFCフォーラム	高校における学生の記述プロセスのデータ解析を用いた記述力指導事業	長崎県長崎市、大阪府摂津市、神奈川県藤沢市
6	株式会社データホライゾン	IoT技術を活用した勝ち残る養豚経営	沖縄県南城市、沖縄県豊見城市、沖縄県八重瀬町、埼玉県深谷市、千葉県旭市
7	HRソリューションズ株式会社	官民連携とIoT活用による、愛媛県移住・地域雇用創出同時促進事業	愛媛県
8	一般社団法人九州経済連合会	ブロックチェーン技術を利用した中食・外食の食材トレーサビリティ社会実装	九州圏内(福岡県福岡市、宮崎県宮崎市、鹿児島県肝属郡 等)
9	株式会社エヌ・ティ・ティ データ東北	地域交通情報プラットフォームによる地域交通の最適化実証事業	宮城県石巻市

特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアム 認知症対応型IoTサービス【医療・福祉】

提案者	・高知県・高知市・医療法人恕泉会・社会福祉法人ふるさと会・認知症高齢者研究所 ・医療福祉大学・(株)NTTデータ・(株)日本ウエルネスソリューションズ、特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアム(ASPIC)
対象分野	医療・福祉
実施地域	高知県高知市(横浜、塚ノ原、春野町)地域、高知県(いの町、中追地域)地域
事業概要	【問題点】認知症は進行性の認知障害を伴い、行動・心理症状(BPSD: Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)が高率で見られる。突発的に発生するBPSDは、介護者に大きな負担とストレスをもたらす、症状の悪化は介護費用も高く長期に渡るため患者やその家族、介護者、そして社会全体にとって深刻な問題となっている。 【解決の方針】IoTサービスで得られる健康・医療情報のデータと生活支援記録法から得られる情報と、15年間の800万件の介護記録に基づいた1500強のケア方法をAIで照合することで自立支援に資する適切なケアを導出、認知症ケアの業務効率化と生活自立度を引き上げ、症状改善にむけたサポートおよび介護負担軽減への工数削減に取り組んだ。 【目標】本事業は対象者を、IoTサービスを適用したA群と適用しないB群に対して効果を科学的に比較し、IoT・AIによるBPSDの予防に効果があることを実証した。
主なルール整備等	・IoT相互接続ガイドライン ・AI生成データの取扱いルール

問題点

問題解決への取組 (実証事業の概要)

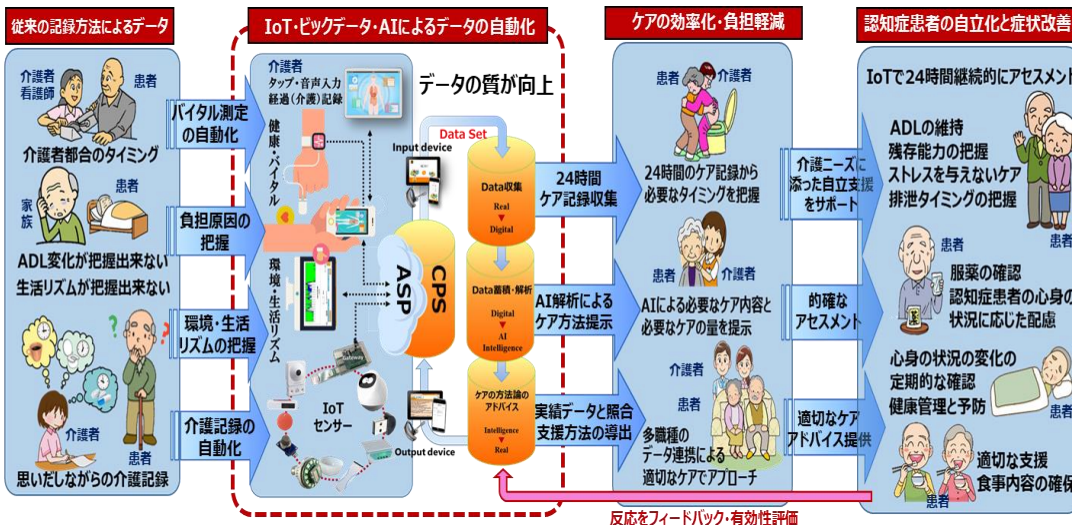
得られた成果 (KPI)

BPSDによる介護負担

BPSDは、認知症介護に於いて避けられない症状であり突発的に発生するため介護者に一番の負担とストレスをもたらすと共に、認知症の進行をもたらし。

認知症進行に伴う経済的負担

認知症患者へ、介護者が介入するタイミングやケア内容及び量が的確に把握できない為、精神的負担が長期間続き症状の悪化をもたらすことで、生活自立度の引き上げが難しい。



BPSDの予防

IoTデータおよび生活支援法に基づく介護記録のデータにより、AI解析による最適な支援方法を提供することで、BPSDの発症予防率74%達成。

また、アンケート結果からBPSDの減少により介護負担が25%削減された。

平成30年7月13日

平成30年度予算「情報通信技術利活用事業費補助金（地域IoT実装推進事業）」に係る採択候補の決定及び追加公募の実施

総務省では、平成30年度予算「情報通信技術利活用事業費補助金（地域IoT実装推進事業）」の公募に対する提案の中から、外部有識者の評価を踏まえて採択候補を決定するとともに、同事業の追加公募を本日から8月10日まで実施することとしましたので、お知らせします。

1 事業の概要

総務省では、IoT等の利活用による成果を日本全国の地域の隅々まで波及させるため、「地域IoT実装推進タスクフォース」を平成28年9月より開催し、地域課題の解決につながる「生活に身近な分野」を中心として、地域におけるIoTの実装に取り組む具体的道筋を提示するための「地域IoT実装推進ロードマップ」を策定いたしました。

本事業では、これまでの実証等の取組を通じて創出された「分野別モデル」の普及展開を図るため、以下の要件に該当する地域での先導的な取組の提案について、平成30年4月25日から5月31日まで募集いたしました。

申請主体及び事業名

（採択全27件一部抜粋／申請40件）

21	株式会社RTi-cast	リアルタイム津波浸水・被害予測システム実装事業ー リアルタイム災害情報配信による自治体の減災力強化 ー
22	特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアム	ビッグデータ活用による認知症対応型IoTサービス
23	一般社団法人おもてなしICT協議会	スマートフォンJapan2Go！観光クラウドによる地域情報資源の相互利用

IX. 市場動向と今後の取り組み

1. 情報発信の内容と成果

クラウドトピックス(新聞記事)

- 日経4誌及び日刊工業新聞から5つのキーワード(IoT、クラウド、マイナンバー、街づくり、地方創生)で検索した記事の中から、読み応えのある記事を選定し、会員向けに記事見出しをメールで配信し、記事本文をASPIC会員専用ページに掲載している。
- 毎週金曜日、2019年においては計45回、通算第251号まで発行した。
IoT、AI、クラウド、マイナンバー、街づくり、地方創生に関するトピックスの情報が容易にわかる。

官庁等調達情報

- ASP・SaaS・クラウド及びデータセンター等の案件に関して中央省庁や地方自治体等が実施するIT関連の調達情報を抽出し、会員向けに毎週新規調達案件をメールで配信し、調達中の累積案件をASPIC会員専用ページに調達元の案件情報へのリンクとともに提供している。
- 毎週火曜日、2019年においては計46回、通算第257号まで発行した。
中央省庁、官公庁、全国の地方自治体のIT関連の調達中の調達案件情報が容易にわかる。

2. クラウドトピックスから見た市場動向等

クラウドトピックス全記事

クラウドトピックスでは2019年の1年間に1571件の記事を掲載した。

このうち、AIの記事が671件と最も多く、次いで、IoTの記事が365件、クラウドの記事が292件、その他の記事(マイナンバー、街づくり、地方創生)が243件であった。

全体的に見ると、AI分野とクラウド分野の記事が増加しており、中でもAI分野の増加が顕著である。ITシステムのクラウド化が堅調に進んでいる中で、AIが様々なシステムに適用され、種々の業態にAIによる自動化、省力化の取組みが進んでいることが伺える。

2019年クラウドトピックス掲載記事数

	全体	AI	IoT	クラウド	その他
2019年	1571	671	365	292	243
2018年	1572	630	401	280	261

3.クラウドトピックスから見た市場動向等（IoTクラウドサービス）

IoTクラウドサービス

クラウドトピックスのIoTの記事は365件（23.2%）のうち、IoTクラウドサービスの記事は36件あった。

そのうち、IoTにより収集したデータをAIで分析・判定し業務の自動化、高度化を支援するIoT・AIクラウドサービスが10件あったが、2018年の記事には見当たらず、2019年に入ってから新たに登場するようになってきた。

IoTクラウドサービスの記事36件を分野別に見ると、医療・健康分野（7件）、基盤・装置分野（7件）が多かった。

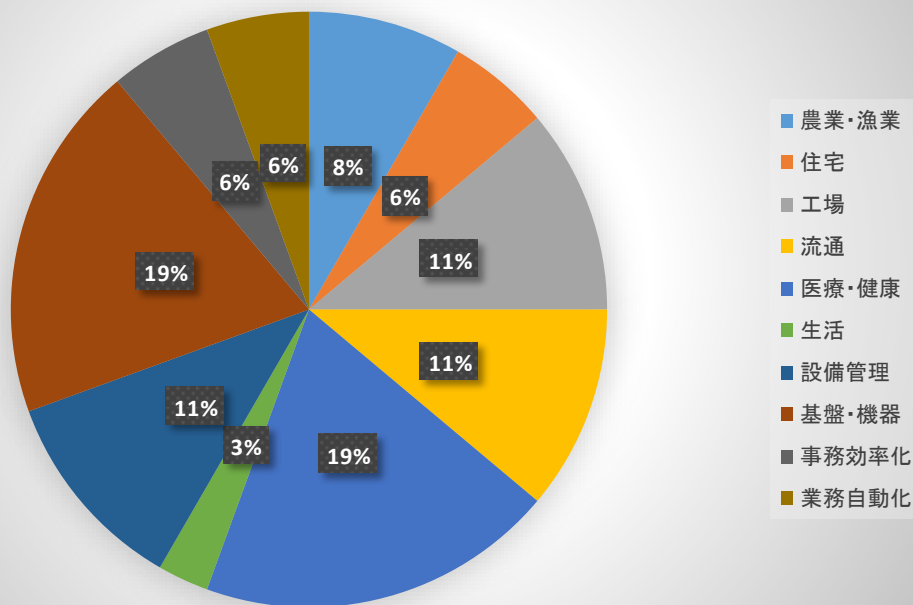
医療・健康分野では介護施設における高齢者の見守り、遠隔地の独居者見守りサービス等多く、高齢化社会への対応サービスが大半を占めた。

基盤・装置分野では、中小企業向けにIoTを導入しやすくするためのIoT導入キットやIoT導入サービスが大半を占め、中小企業がIoTを導入しやすくなる環境作りが進められているようである。

IoTクラウドサービスを提供しているベンダでは、日立製作所が5件と最も多く、次いで、KDDI、シャープ、リンクジャパンが各2件と続いた。

3.クラウドトピックスから見た市場動向等 (IoTクラウドサービス)

2019年 IoTクラウドサービスの適用先分類



	分野	2019年	2018年
1	農業・漁業	3	5
2	住宅	2	5
3	工場	4	4
4	流通	4	4
5	医療・健康	7	2
6	生活	1	2
7	設備管理	4	2
8	基盤・機器	7	4
9	事務効率化	2	0
10	業務自動化	2	0
	合計	36	28

3.クラウドトピックスから見た市場動向等 (IoTクラウドサービス)

2019年 IoTクラウドサービス(36件)

出典：日経新聞、日経産業新聞、日刊工業新聞、日経MJ(流通新聞)

No.	記事区分	記事見出し	掲載日	事業者	件数	分野
1	【IoT-AI】	深層断面／鳥獣被害、ICTで防げ！ 実りの秋に忍び寄る危機	2019/11/25	日立製作所	3	農業
2	【IoT】	スマート農業、一歩先へーリスク可視化し安定経営	2019/12/19			
3	【IoT】	KDDI、農業ハウス温度IoTで監視。	2019/12/04	KDDI		
4	【IoT-AI】	米IT3社「つながる家電」通信統一、AIスピーカー、連携しやすく、消費者、選択肢広がる。	2019/12/20	アマゾン・ドット・コム、アップル、グーグル	2	住宅
5	【IoT-AI】	電機、事業モデル転換——つながる車、IT宝の山、シャープ、AIoTで新事業探る	2019/11/28	シャープ		
6	【IoT】	THKなど、製造業向けIoTサービスを18日開始	2019/12/11	THK	4	工場
7	【IoT】	日立、発電所IoT本格参入。	2019/06/07	日立		
8	【IoT】	データをクラウド管理 東芝情報システムがIoTサービス	2019/05/17	東芝情報システム		
9	【IoT】	企業向けIoTで連携、コニカミノルタ・日本MS、データ分析、生産性向上。	2019/05/17	コニカミノルタ		
10	【IoT-AI】	モリタ、IoTで消防車見守り、不具合を早期把握。	2019/12/17	モリタ	4	流通
11	【IoT】	フォークリフト「見える化」、危険運転や維持管理も把握、三井物産系、100社導入目標。	2019/06/20	三井物産エレクトロニクス		
12	【IoT】	電機、事業モデル転換——つながる車、IT宝の山、富士通やNTTグループ、大容量データ活用後押し	2019/11/28	富士通、NTTグループ		
13	【IoT】	ソフトバンク、鉄道車両向け防犯サービス。	2019/12/16	ソフトバンク		
14	【IoT-AI】	IoTで見守り+健康管理、リンクジャパン、介護施設向け。	2019/07/03	リンクジャパン	7	医療・健康
15	【IoT】	介護記録、IoT化進む、富士データシステム、見守りセンサーなど連携。	2019/01/29	富士データシステム		
16	【IoT】	ICTで負担減、在宅介護、高度に、地域包括ケアの支え。	2019/10/25	サン電子、三栄メディス、NSK、エヌジェイアイ		
17	【IoT】	機器操作、スマホ通知、みまもり電池	2019/08/22	ノバルス		
18	【IoT】	KDDI、法人向けGPS追跡サービス。	2019/06/26	KDDI		
19	【IoT】	ソースネクスト、GPSで見守り、ポケットに次ぐIoT端末。	2019/06/18	ソースネクスト		
20	【IoT】	追跡システム、寿命10年、アルプスアルパイン、物流把握などに活用、GPS使わず安価・省電力。	2019/02/27	アルプスアルパイン		
21	【IoT】	つながる家電、一括操作、シャープがアプリ、他社とも連携。	2019/05/21	シャープ	1	生活
22	【IoT】	ビル・マンション設備点検、スマート化でコスト半減 日本ユニシス	2019/04/24	日本ユニシス	4	設備管理
23	【IoT】	NTT東、IoTで中小開拓、センサーで庫内の温度管理。	2019/10/09	NTT東		
24	【IoT】	栗田工業、サービス型にシフト、店・工場の節水、IoTで支援。	2019/06/04	栗田工業		
25	【IoT】	日立、漏水をデータで予見、IoT使い水道管見守り。	2019/05/20	日立		
26	【IoT-AI】	ルマーダで協創、日立の切り札、顧客データから課題解決探る、海外、米で競合、聖域なき改革推進。	2019/11/27	日立	7	基盤・装置
27	【IoT-AI】	IoT機器、組み立て簡単、アットマークテクノなど、開発キット販売。	2019/03/18	アットマークテクノ		
28	【IoT】	IoT化、本丸は中小企業、アプリ・サブスクリプション…支援広がる	2019/10/02	コマツ、横河電機、アムニモ		
29	【IoT】	IoTインフラを一括提供、IIJ、台湾企業と、導入容易に。	2019/09/03	IIJ		
30	【IoT】	石川コンピュータ・センター、IoT導入キットをレンタルで提供。	2019/07/31	石川コンピュータ・センター		
31	【IoT】	東大がIoT新会社 クラウド間相互接続でサービス創出	2019/05/30	IoT-EX		
32	【IoT】	日立、IoT導入を支援、サービス30種提供、数日で環境構築。	2019/03/19	日立		
33	【IoT-AI】	リンクジャパンの水道クラウド管理——既存メーターで見守りも	2019/11/14	リンクジャパン	2	支援業務
34	【IoT-AI】	ビジネストレンド／メーター撮ってAIで読む 拡大するシンプルな仮設IoT	2019/10/23	スカイロジック、GMOクラウド		
35	【IoT-AI】	千葉県内3地銀、AI-IoTで接客に磨き、業務の自動化加速、来店不要、利便性高める	2019/06/25	セールスフォース・ドットコム	2	基盤業務
36	【IoT】	第1部HRテック進化(5)在宅勤務しっかり管理—アプリ、在席・離席も即時に	2019/07/26	キャノンITソリューションズ		

4.クラウドトピックスから見た市場動向等（AIクラウドサービス）

AIクラウドサービス

クラウドトピックスの全記事1571件のうち、AIの記事は671件(42.7%)であった。
そのうち、AIクラウドサービスの記事は46件あり、そのうちIoT・AIクラウドサービスは1件であった。

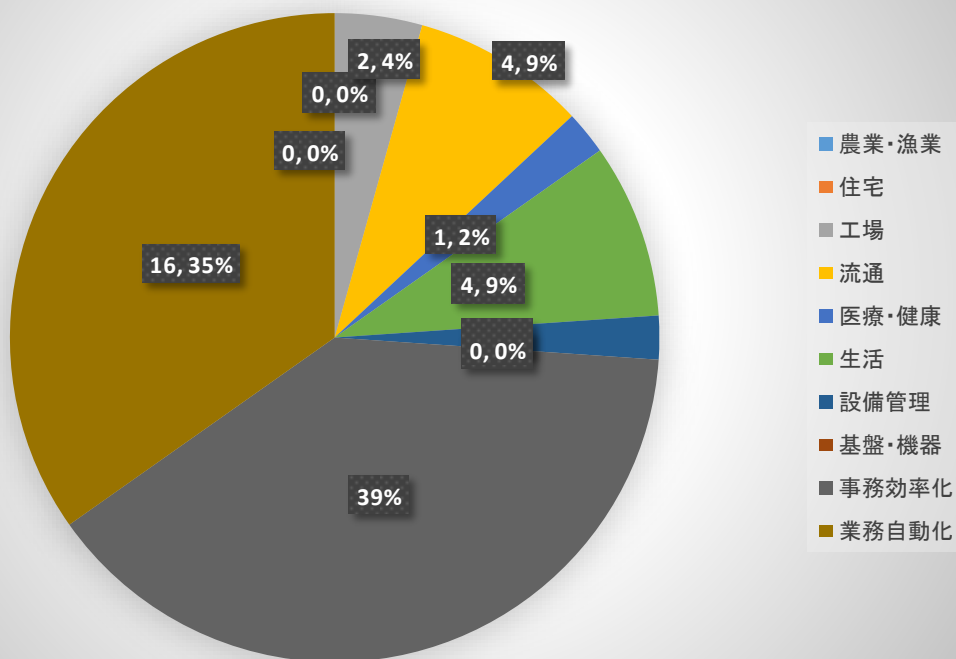
AIクラウドサービスの記事46件の中で、支援業務分野(18件)、基幹業務分野(16件)、流通分野(4件)、生活分野(4件)のクラウドサービスが多く、全体の74%を占めた。

IoTクラウドサービスで多くを占めた医療・健康分野、基盤・装置分野、工場分野、設備管理分野のサービスは少なく、特に多かったのは、画像、音声認識AIを活用して事務処理自動化・効率化を実現する支援業務分野と、データ分析・文章解析にAIを活用して業務を自動化する営業支援、契約、人事等の基幹業務分野が多かった。

AIクラウドサービスを提供しているベンダには、突出しているベンダはなく、リーガルフォースの3件が最多で、次いで、NEC、富士通、日本ユニシス、弁護士ドットコム、富士フイルム、GMOクラウド、カオナビが2件で続いた。

4.クラウドトピックスから見た市場動向等（AIクラウドサービス）

2019年 AIクラウドサービスの適用先分類



	分野	2019年	2018年
1	農業・漁業	0	1
2	住宅	0	0
3	工場	2	0
4	流通	4	0
5	医療・健康	1	5
6	生活	4	3
7	設備管理	1	2
8	基盤・機器	0	4
9	事務効率化	18	9
10	業務自動化	16	13
	合計	46	37

4.クラウドトピックスから見た市場動向等 (AIクラウドサービス)

2019年 AIクラウドサービス(46件)

出典：日経新聞、日経産業新聞、日刊工業新聞、日経MJ(流通新聞)

No.	記事区分	見出し	出典	事業者	件数	分類
1	【AI】	業種別分析(3) SaaSで人事・営業支援——パネイル、ブレイド	2019/01/21	パネイル	2	工場
2	【IoT・AI】	三菱重工、AIで省電力、自社の知見で新サービス。	2019/03/01	三菱重工		
3	【AI】	三菱電、鉄道保守点検を効率化。	2019/11/13	三菱電	4	流通
4	【AI】	DeNA、危険運転をAI検知。	2019/06/28	DeNA		
5	【AI】	バスの行き先、AI対話案内、ユニ・トランド、作業軽減、LINE対応。	2019/03/26	ユニ・トランド		
6	【AI】	日本ユニシス、ドラレコ映像解析、交通違反を即時通知、営業車の事故防止。	2019/01/16	日本ユニシス		
7	【AI】	エムスリー系、クラウド型1000万人分超。	2019/02/21	エムスリーデジタル	1	医療・健康
8	【AI】	写真、クラウドで保管——AI、特性別に自動仕分け、アプリで検索、アルバムも	2019/07/29	富士フイルム	4	生活
9	【AI】	オークネット、写真AI仕分け、アルバム制作容易に。	2019/06/13	オークネット		
10	【AI】	NTT、特殊詐欺の電話、AIが自動判別。	2019/05/20	NTT		
11	【AI】	富士通、家計のやりくり、AIが助言。	2019/10/24	富士通		
12	【AI】	鹿島、ビル設備の故障をAI予測、日本マイクロソフトと連携。	2019/12/04	鹿島	1	設備管理
13	【AI】	日本マイクロソフト、教育でビッグデータ活用支援。	2019/08/07	日本マイクロソフト	18	支援業務
14	【AI】	RPA最前線(下) AIが補完、適用しやすく——OCRで手書き文字対応、自動化、非定型の業務も。	2019/07/10	米オートメーション・エニウェア		
15	【AI】	商品包装の印刷、AI校正、大日本印刷、キリンなどと実証。	2019/05/27	大日本印刷		
16	【AI】	画像の「奥行き」、AIで解析、日本ユニシス、ソフト提供。	2019/05/24	日本ユニシス		
17	【AI】	棋譜、リコーがAIで記録。	2019/06/25	リコー		
18	【AI】	GMOクラウド、メーター数値をアプリが読み上げ。	2019/05/15	GMOクラウド		
19	【AI】	総菜量り売りにAI、大津屋と計量器のインダ、具材、画像で判別、レジ負担減、人手確保。	2019/10/24	大津屋		
20	【AI】	画像から好みの商品分析、富士フイルム、ECモール参入、クラウドのデータ活用。	2019/03/20	富士フイルム		
21	【AI】	NTT出版、AIで音声テキストに。	2019/04/10	NTT出版		
22	【AI】	川崎市議会、審議を即時に文字化、聴覚障害者、傍聴しやすく。	2019/02/07	シャムロック・レコード		
23	【AI】	LINE対話アプリ、音声で操作、質問にAIが回答。	2019/01/30	LINE		
24	【AI】	社内チャット、業務の核に、AIが資料収集、経費精算の窓口、米シンフォニーやスラック	2019/02/23	米シンフォニー・コミュニケーション・サービス		
25	【AI】	TIS、会議内容、テキスト化。	2019/07/29	TIS		
26	【AI】	ストレージ、箱から脳に、米Box、AIと連携。	2019/07/24	BoxJapan		
27	【AI】	サイバーセキュリティクラウド、未知のウェブ攻撃、AIで防御。	2019/08/08	サイバーセキュリティクラウド		
28	【AI】	パワポ原稿、AIが翻訳、プレゼンソフト新機能、スカイフィッシュ、40言語対応。	2019/06/28	スカイフィッシュ		
29	【AI】	東芝の翻訳システム、特許庁で。	2019/06/05	東芝デジタルソリューションズ		
30	【AI】	相鉄と小田急、駅にAI通訳機、74言語に対応。	2019/02/26	ソースネクスト		
31	【AI】	広がる中小オンライン融資、マネフォは個人事業主にも。	2019/12/23	マネフォワード、フリー		
32	【AI】	西日本シティ、AIで効率化。	2019/12/05	西日本シティ銀行		
33	【AI】	富士通「信用スコア」提供、AIで点数化、金融機関向け、10月に。	2019/08/26	富士通		
34	【AI】	中国銀、クラウド型会計を提供、フリーと業務提携。	2019/08/24	中国銀行		
35	【AI】	AI×ウェブで需要予測、NEC、中小企業向け開拓。	2019/07/09	NEC		
36	【AI】	GMOクラウド、AIでPOP効果見える化。	2019/06/18	GMOクラウド		
37	【AI】	グルーヴノーツ、AIでJCBの保険営業支援。	2019/09/10	グルーヴノーツ		
38	【AI】	宅配給食、AIで献立、フレアサービス、食事制限にも対応。	2019/06/28	フレアサービス	16	基盤業務
39	【AI】	法務の課題、何でもござれ、AIクラウドで楽々、中小向けも登場、広がる裾野(StartUp)	2019/02/18	Holmes、リーガルフォース		
40	【AI】	契約書点検にもAI、リーガルテック広がる。条項の問題点・必要文言…、企業法務の効率化後押し。	2019/01/14	リーガルフォース、弁護士ドットコム、RUC		
41	【AI】	「リーガルテック」契約書をAI点検——紙中心の日本、導入に遅れ	2019/06/04	リーガルフォース弁護士ドットコム、シールソフトウェア		
42	【AI】	第1部HRテック進化(3) 適材適所、個の才能発揮—広がる「タレントマネジメント」	2019/07/24	カオナビ、あしたのチーム		
43	【AI】	データ分析のトランス、AI採用評価を提供。	2019/07/05	トランス		
44	【AI】	CTC、AIで従業員のスキル検索。	2019/05/15	CTC		
45	【AI】	NECソリューションイノベータ、AIが従業員の離職防止支援。	2019/04/23	NEC		
46	【AI】	カオナビ、退職リスク予測のAI開発へ。	2019/02/27	カオナビ		

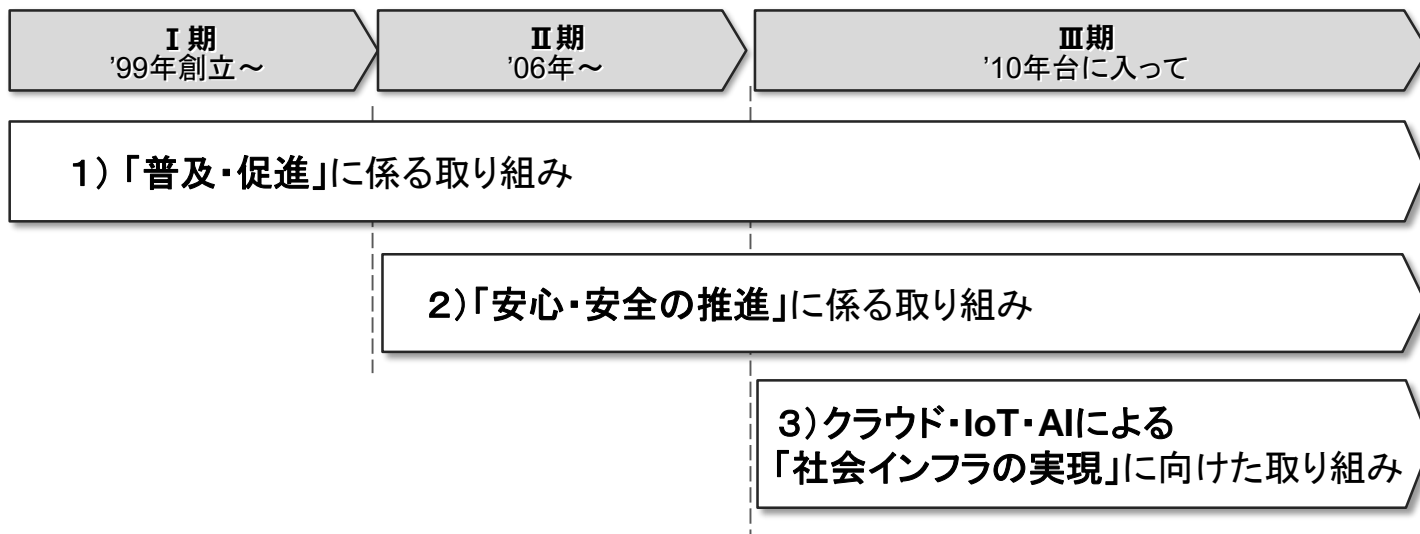
5. 今後の取り組み

20年にわたり、ASP・SaaS、クラウドの「普及・促進」と「安心・安全の推進」に取り組んできました。

今後のICT社会は、クラウドのコモディティ化、モバイルやスマートフォン等の進展、ハイブリッドクラウドやクラウド間の連携等により、飛躍的な進展が見込まれます。

ASPICは、今後も新たにASP・SaaS、クラウド、IoT及びAIによる「社会インフラの実現」に取り組み、各方面との英知を結集しいっそうの社会貢献を目指します。

新しい取り組み「社会インフラの実現」を加えて



5. 今後の取り組み

1) クラウドによる社会インフラの実現

- ・ 地方創生・街づくり・テレワーク等の新規ガイドライン作成
- ・ 国・業界団体と連携した分野別クラウドの実現

2) 安心・安全なクラウドサービス

(安心・安全の推進)

- ・ 情報開示認定制度の高度化と活用ガイドの作成
- ・ 国等と連携したガイドラインの整備と普及活動

3) クラウドビジネスの発展・拡大

(普及・促進)

- ・ 利用企業の高速経営、事業革新の先導
- ・ ASPIC活動の地方展開並びに海外展開
- ・ 政策・技術・市場等の情報提供

- ・ ビッグデータ、IoT/IoE、AI等の活用と、業界・分野別クラウドの集合体形成を推進

- ・ 情報開示認定制度のデファクトスタンダード化の実現
- ・ 社会インフラづくりのための各種ガイドラインの作成

- ・ 利用企業の事業創出・革新への貢献
- ・ 事業者のビジネス拡大に貢献

クラウドサービスの社会インフラシステムへの発展

